

2024 年度（令和 6 年）

事業報告書

社会福祉法人 福寿会

目次

1	法人理念	2
2	基本方針	3
3	理事会及び評議委員会の開催.....	4
4	施設概要	6
5	介護部門	7
	(1) 入所・住居系.....	7
	① 特別養護老人ホーム.....	7
	② ショートステイサービス.....	24
	③ グループホーム アクール.....	25
	④ 軽費老人ホーム	26
	⑤ サービス付き高齢者向け住宅.....	27
	(2) 通所系	31
	(3) 訪問系	33
	① 訪問介護ステーション.....	33
	② 訪問リハビリテーション.....	34
	(4) 居宅介護支援事業所.....	34
	(5) 配食サービス.....	36
	(6) 委員会活動報告.....	38
6	医療部門	48
	(1) 平城園診療所	48
	(2) あきしの整形外科クリニック.....	48
7	保育部門	49
	(1) 登美ヶ丘マミーズ保育園.....	49
	(2) 福寿会マミーズ保育園.....	53

1 法人理念

【法人の基本理念】

1. その人の人権を尊重する
2. その人の自立を支援する
3. その人の心を癒す

【法人の基本方針】

1. 地域福祉の拠点として、地域から信頼される法人を目指します。
2. 利用者から評価される安心できる質の高いサービスを提供します。
3. 人材確保と育成に取り組み、職員の質の向上に努めます。
4. 各種制度や法改正の意思や方向性を見極め、中長期的視野に立った安定した経営を構築します。
5. 財務情報公開、行政の認証制度、苦情解決等の透明性の確保に努めます。

2 基本方針

令和6年度のテーマは地域貢献とし、地域交流を通じたご利用者の生活の質向上、地域循環を意識した経営基盤構築、地域貢献を通じた人材育成に注力しました。

地域交流を通じたご利用者の生活の質向上については、地域向けの防災イベント、デパ地下キッチンカーを招いたマルシェ等を開催しました。

地域循環を意識した経営基盤構築については、ボトムアップで課題抽出が出来る組織を目指し予算管理体制の構築を進めました。

地域貢献を通じた人材育成としては、接遇向上を目的としマナースタンダードを作成し、接遇向上委員会を立ち上げました。また、初任者研修講座開講等、研修の機会を増やしました。

年度を通して各種取組を進めてきましたが、地域貢献としては道半ばです。同じ趣旨の取組を続けつつ、経営基盤の強化、人材育成に更に注力し法人としての土台作りを進める必要があると痛感しました。その為、令和7年度のテーマは、経営基盤の強化、人材育成とします。前年度テーマにも含まれるワードになりますが、より絞ったテーマとすることで、引き続き、目的を明確にし地域に貢献しうる法人になるための土台作りに注力して参ります。

3 理事会及び評議委員会の開催

1) 2024年度における理事会を次のとおり開催した

開催月	主な審議事項
2024年6月	2023年度 事業報告・決算報告 選任解任委員会の開催について 定款の一部改正 役員及び評議員の報酬等規程の一部改正 就業規則の一部改正 グレイス福寿の給食業務委託契約について 社宅の整備、土地取得、施工業者選定について
2024年6月	グレイス福寿に導入する厨房機器の購入先を指名競争入札にて選定する件
2025年3月	2024年度 補正予算 2025年度 事業計画・収支予算 定款の一部改正について 経理規程の一部改正について 給与規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 育児介護休業規程の一部改正について 登美ヶ丘マミーズ保育園の認定こども園移行 給食業務委託契約について 社宅整備を目的とした金融機関借入について

2) 2024年度における評議員会を次のとおり開催した

開催月	主な審議事項
2024年6月	2023年度 事業報告・決算報告
2025年3月	2024年度 補正予算 2025年度 事業計画・収支予算

3)選任解任委員会を、次のとおり開催する

開催月	主な審議事項
2024年6月	評議員の解任、次期評議員の選任

4)監事による監査

- ① 監事は理事会に出席し、理事会の運営状況、法人の財産の状況を監査する。
- ② 監査報告書を作成し理事会及び奈良市長に報告する。

開催月	主な審議事項
2024年5月	決算並びに事業報告の監事監査

4 施設概要

施設 1

名称	平城園	住所	奈良市秋篠町 1567
実施事業		事業所名	
特別養護老人ホーム		特別養護老人ホーム平城園	
ショートステイ		平城園ショートステイ	
グループホーム		グループホーム アクール	
サービス付き高齢者向け住宅		ヴィラ秋篠	
デイケア		あきしの整形外科クリニックデイケア	
訪問介護ステーション		平城園ホームヘルプステーション	
訪問リハビリテーション		平城園訪問リハビリテーション	
居宅介護支援事業		平城園在宅介護支援センター	
内科診療所		平城園診療所	
整形外科診療所		あきしの整形外科クリニック	
企業内保育所		福寿会マミーズ保育園	

施設 2

名称	ならやま園	住所	奈良市山陵町 1085
実施事業		事業所名	
特別養護老人ホーム		特別養護老人ホームならやま園	
ショートステイ		ならやま園ショートステイ	
デイサービス		ならやま園デイサービスセンター	
訪問介護ステーション		ならやま園ホームヘルプステーション	
居宅介護支援事業		ならやま園居宅介護支援事業所	
軽費老人ホーム		ケアハウス ニューライフならやま	

施設 3

名称	登美ヶ丘マミーズ保育園	住所	奈良市中登美ヶ丘五丁目 34-1
実施事業		事業所名	
認可型保育所		登美ヶ丘マミーズ保育園	

施設 4

名称	グレイス福寿	住所	奈良市山陵町 1485
実施事業	事業所名		
サービス付き高齢者向け住宅	グレイス福寿		
デイサービス	奈良デイサービス		

5 介護部門

(1) 入所・住居系

① 特別養護老人ホーム

a 特別養護老人ホーム平城園

令和6年度のテーマは「働き甲斐のある職場作り」「人材育成」「防災対策の推進」であった。ICT施策としてネットワーク環境を再構築し、新たな見守り機器を導入した。人材育成については、施設内・外の研修を強化し職員の資質向上に取り組んだ。

法人として介護職員初任者研修講座の開講、外国人材の雇用拡大に伴い、指導力や育成力のさらなる向上に取り組む必要がある。

防災対策については BCP の見直しや、多様な災害を想定した訓練を実施し、災害に強い体制づくりを目指した。

令和7年度は、新人事制度に基づいた人事評価や人材育成を定着させ、「働き甲斐のある職場作り」と「人材育成」に取り組んで参る。

▶ 介護部門（従来型特養）

■ 体制づくり

令和6年度においてはコロナ禍以前の暮らしぶりへの回帰をより一層に推し進め、面会・外出・外泊の更なる制限緩和が実現できた。季節行事とともに、定期的なボランティアによる慰問・レクリエーションが再開し、外部との交流による楽しさを提供することが出来た。ICT施策として、従来型3フロアへ見守り機器であるネオスケアを導入し、夜勤帯の職員負担軽減が図られた。見守り機器の導入に合わせ無線ネットワークの再構築にも着手し、記録・通信・見守りの各 ICT 機器がストレスなく稼働する環境を整えることが出来た。

■ 人材育成・雇用の安定化・職場環境づくり

昨年度に続き介護職養成校の実習生を新卒採用に繋げることが出来た他、アテンド職からの新卒採用も実現することが出来た。また、昨年度のベトナムに続きミャンマーから4名の外国人職員が得られた。現場でのOJTに加え、外部講師による日本語教室を法人として実施し、語学力向上のサポート体制を整えた。一方、既存職員において不適切なケアの事例があり、待遇レベルの向上について再度意識を新たに取組んでいく必要がある。

■ 災害・感染症に対応できる体制づくりの強化・計画の充実

令和6年度においてもコロナ・胃腸炎等の感染症が施設内で発生した。昨年のクラスター発生以後に初動対応のマニュアルを見直し、隔離対応と他部署の協力体制が迅速に開始できるよう行動基準を明確にした。感染対応時のヘルプ人員投入において、他部署にも余力がなく難しい面があった為、施設の人員補充は継続して行っていく必要がある。災害時対応についても定期的防災訓練により周知・啓発を行っているが、BCP発動を想定した、より具体的な行動訓練も取り入れていく必要がある。

➤ 介護部門（ユニット型特養）

■ 個別ケアの推進

個別ケア、生活の自律を意識し、状況、状態に合わせて丁寧、適切な援助に概ね取り組めた。ユニットケアの理解、理念に沿った生活支援の人材育成に努めているが、まだまだ時間を要し、実践には至っていないと考える。引き続き、思いに沿う、個性の理解、チーム共有・協働でのケアに取り組む。

■ 環境づくり

福祉機器の導入は進んでいないが、活用が有効なものがあれば、提案していきたい。少しずつだが、家庭的な共同スペース、居場所づくりに取り組んでいる。環境を整えるのに必要な物品が不十分なため、安全面を重視しつつ、来年度はそれらの適切な選定と設置により、さらに居心地の良い空間づくりを目指したい。

➤ 看護部門

利用者の人権を尊重し「安心・安全」「納得・信頼」のある看護を提供する。

■ 利用者の健康管理、異常の早期発見

介護職、多職種との連携により、利用者の体調の変化を観察、異常の早期発見を行い、診療所医師へ報告、指示のもと、健康管理に努めた。医療機関への受診(定期受診、臨時受診を含む)は、374件（前年度 370件）、入院された利用者は、49名(前年度 41名)であった。

（図1と図2）

■ 感染症の対策

前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組んだ。更にインフルエンザウイルス、急性胃腸炎など、感染症対策の強化が求められ、多職種との連携、情報共有を行った。

現状としては、令和6年8月、コロナウイルスによる、利用者と職員のクラスター感染、令和7年1月、利用者のインフルエンザウイルスの感染、令和7年3月には、急性胃腸炎による症状の為、体調不良の利用者

が増加したが、各部署の連携を強化し、感染拡大の防止に努め、終息した。

今後も、継続的な感染対策への意識を高く持ちながら、多職種との連携を密に行い、感染症防止を実践していく。

■ 利用者・家族に安心して頂ける看取り介護の提供

本年度、園で亡くなられた利用者は、16名(前年度 48名)、うち看取り介護を受けられたのは、12名(前年度 33名)であった。他職種で連携し看取り委員会を中心に、看取り介護・看護の質の向上に努めた。

■ 褥瘡発生予防の体制

多職種の連携により、褥瘡発生予防の対策に努めたが、今年度4名(前年度7名)の褥瘡発生があった。3か月毎の褥瘡ケア計画の作成、アセスメントを行い、原因の追究、平常時の褥瘡予防ケア、診療所の医師の指示のもと、発生時の早期対応に努めた。

■ 介護職員との連携による医療的ケアの実施

看護師4名が医療的ケア教員講習を受講し園内での実地研修がよりスムーズに行える環境を整え、介護職員4名が認定特定行為業務者認定証を取得した。医療的ケア推進対策委員会を定期開催し、医療と介護で連携を図り安全に実施することができた。

■ 人材の育成

看護実習施設として、看護学生19名の実習を受け入れ人材育成に取り組んだ。

図1 <利用者の受診・入院状況> (単位：人)

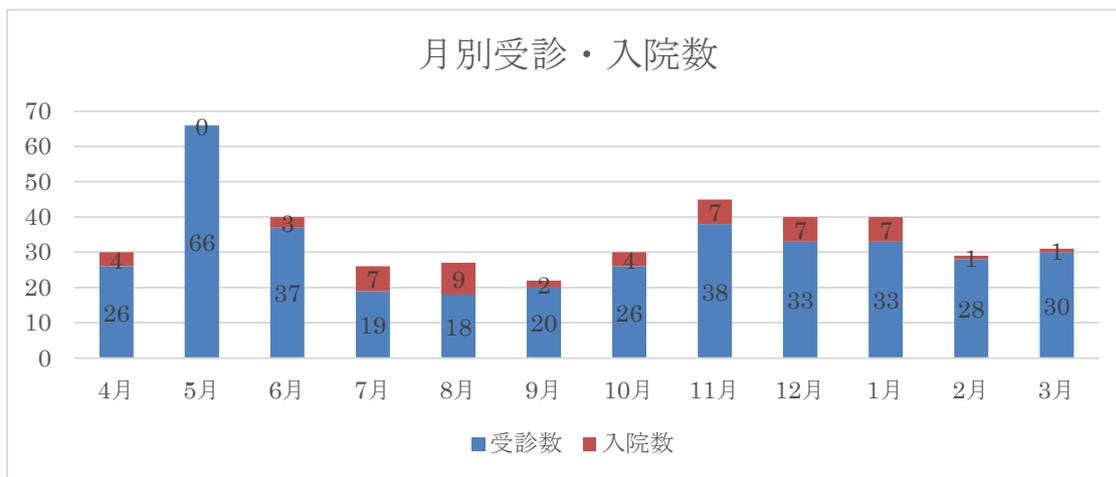
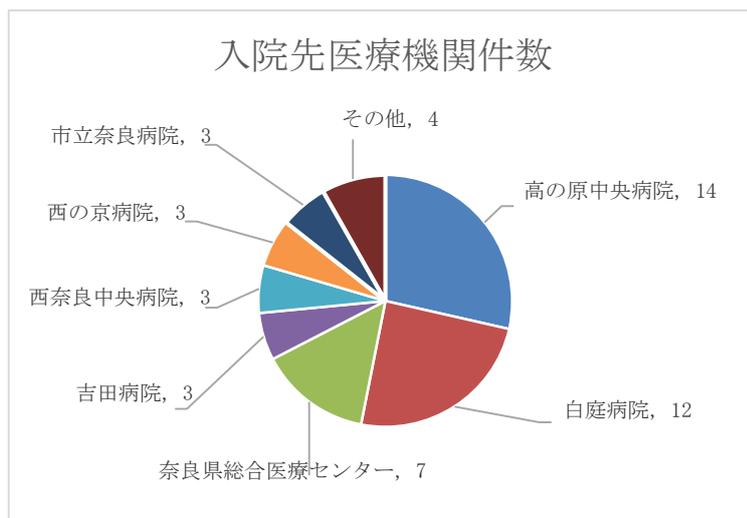


図2 <入院先医療機関件数>

(単位：人)



➤ 機能訓練

- 利用者及び家族の意向を尊重し、利用者一人一人の身体機能評価を行い、多職種連携のもと「身体機能」「生活機能」の維持・向上を図った。
- 主観的及び客観的評価を基に個別機能訓練計画書を作成し、身体機能の維持・向上の為に科学的根拠に基づいた機能訓練を実施した。
- 個々の日常生活動作能力に応じた介助を行い、残存能力を発揮する事で身体機能の維持・向上を図るよう、介助方法の指導・伝達等、多職種との連携を取った。
- 体動が困難な利用者には適切なポジショニングを行い、関節拘縮・褥瘡の予防、安楽な姿勢で過ごせる環境調整を行った。
- 必要な利用者には嚥下評価を行い、適切な食事形態、食事介助方法、食事場面での姿勢の指導を行った。

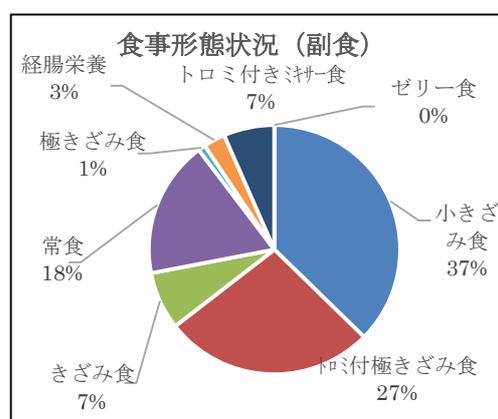
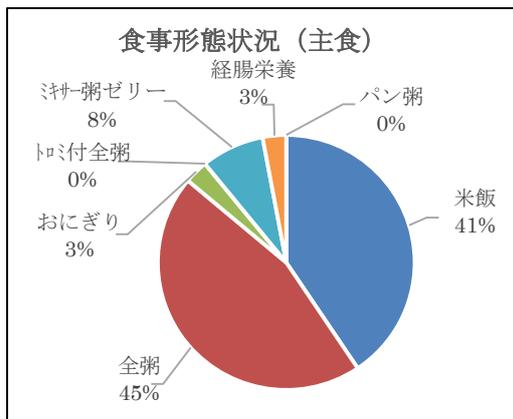
(単位：人)

	居室訓練 (フロア)			ベッドサイド (居室)			合計
	従来型	ユニット型	合計	従来型	ユニット型	合計	
R6 年度	1,816	1,171	2,987	322	117	439	3,426
R5 年度	2,241	1,267	3,508	526	238	764	4,272

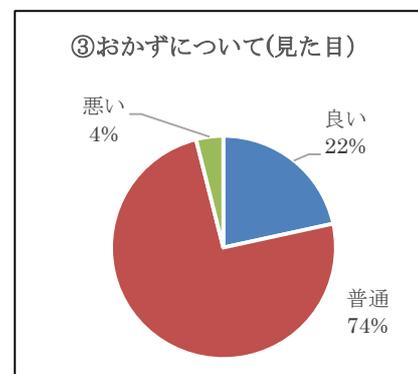
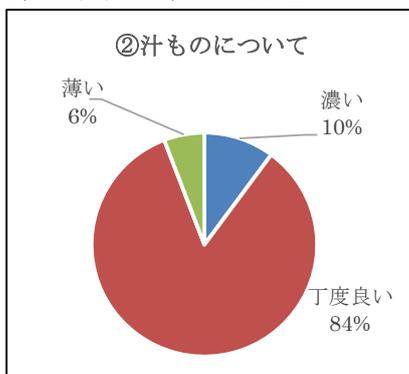
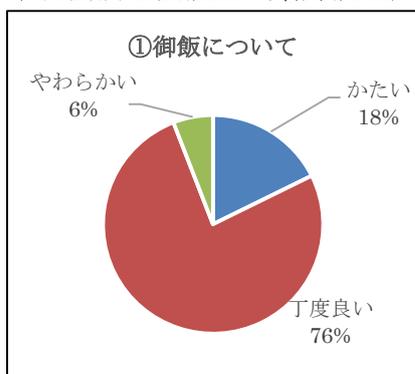
➤ 栄養管理部門

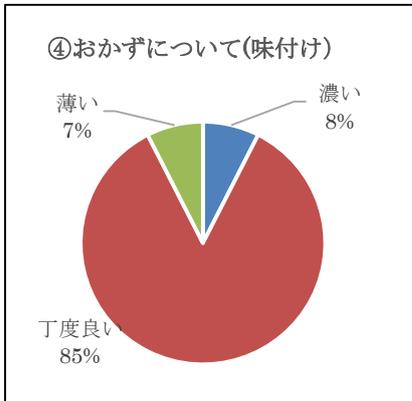
- 利用者に喜んで食べて頂けるように旬の食材を盛り込んだ行事食、お誕生日食、選択食等の実施により、季節の移り変わりや生活の中に変化と楽しみのある食事を提供できた。
- 給食会議等で、職員との連携強化し、ニーズの把握に努めることはできた。
- 栄養ケアマネジメントの実施により、介護部門、看護部門との連携し、一人ひとりの身体状況に適した食事の提供につとめた。
- 災害用の備蓄については、災害に備えて、3日分（9食分）の備蓄内容の見直し、備蓄食品の保管場所と使用方法を給食会議で確認し、多職種での情報共有を実施できた。
- 配食サービスについては、高齢者に適した食材、栄養バランス、嗜好に合わせ、衛生面にも注意して作り、令和6年8月末日で提供を終えることができた。
- デイサービスについては、季節感のある食事や行事食を提供できた。
- 企業内保育所については、子どもの年齢に合わせた食事の提供と安全でおいしい食事の提供ができた。

<R7年3月 食事形態状況(個別対応)>

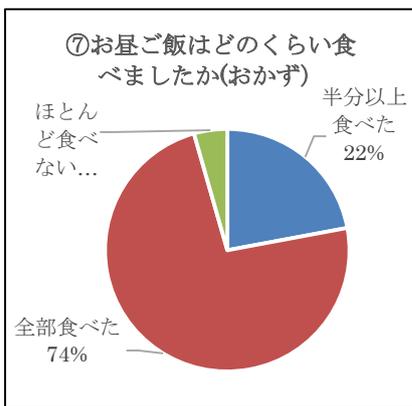
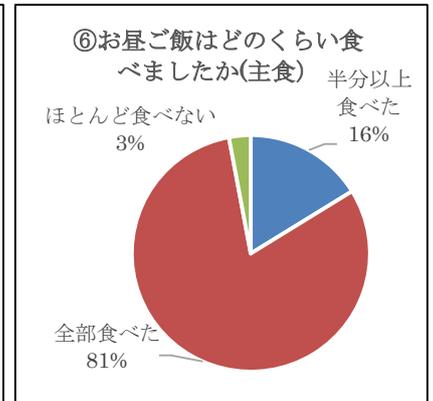
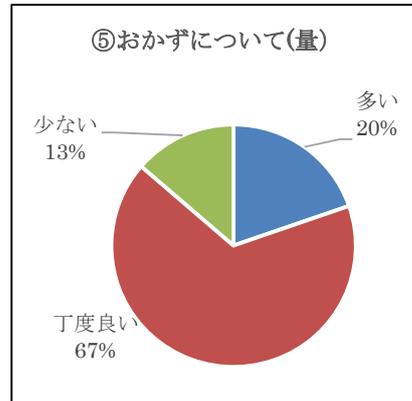


◇特養満足度調査(嗜好調査)結果 令和7年3月実施





*お食事についての希望(抜粋)
・味のバランスがとれていない



- ・量が多い時と少ない時がある
- ・魚ばかりは嫌
- ・ホカホカのコロケが食べたい
- ・おかずに生ものが欲しい
- ・牛肉が食べたい
- ・毎日梅干しが欲しい
- ・時々かたいご飯がある
- ・全体的に薄味なのでもっと濃い方がよい
- ・糖尿病でなかったら、もっと大盛りのご飯を食べたい

▶ ボランティア部門

昨年度再開したコーラス・オカリナ演奏に加え、新たな慰問として健康体操の訪問を開始し、利用者にも好評を得た。また、利用者のご家族からレクリエーションの実施をいただける機会もあった。施設・家族ともに協力して、引き続き利用者の生活の質の向上へと取り組んでいく。

▶ 介護サービス支援室

5月度より面会上の制限を概ね無くし、外出・外泊に関しても再開とした。ご家族の来園機会が増し、ご家族との外食や年末年始を自宅で過ごされるなど、より多くの時間をご家族と過ごしていただける環境が築けた。人材育成の面では研修による知識・技術の習得とともに、接遇レベルの向上

を課題として掲げ、法人全体で委員会を立ち上げて改善に取り組んだ。

外部講師による研修としては「接遇マナーアップ研修」「クレーム対応研修」

「PCスキル研修」、協力医療機関による「口腔ケア研修」「感染症予防対応研修」をそれぞれ実施した。

①在園年数

・従来型

在園年数 (R7. 3. 31 現在)							単位：人
	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年～ 10年未満	10年以上	合計
男性	4	6	1	1	0	1	13
女性	10	28	8	0	4	0	50
合計	14	34	9	1	4	1	63
平均在所日数 ■男性 2年7カ月18日 □女性 2年3カ月27日 平均 2年4カ月21日							

・ユニット型

在園年数 (R7. 3. 31 現在)							単位：人
	1年未満	1年～ 3年未満	3年～ 5年未満	5年～ 7年未満	7年以上	合計	
男性	2	3	1	0		6	
女性	9	14	4	3		30	
合計	11	17	5	3		36	
平均在所日数 ■男性 1年3カ月24日 □女性 2年1カ月18日 平均 2年0ヶ月							

②利用者年齢構成

・従来型

利用者年齢構成 (R7. 3. 31 現在)								単位：人
	70歳未満	70歳～ 75歳未満	75歳～ 80歳未満	80歳～ 85歳未満	85歳～ 90歳未満	90歳～ 95歳未満	95歳 以上	合計
男性	0	0	0	6	5	0	2	13
女性	0	1	4	9	13	15	8	50
合計	0	1	4	15	18	15	10	63

・ユニット型

	70歳未満	70歳～ 75歳未満	75歳～ 80歳未満	80歳～ 85歳未満	85歳～ 90歳未満	90歳～ 95歳未満	95歳 以上	合計
男性	0	0	1	1	3	0	1	6
女性	0	0	1	2	10	5	12	30
合計	0	0	2	3	13	5	13	36

・従来型

	最低年齢	最高年齢	平均
男性	81	95	85.9
女性	71	96	88.1

・ユニット型

	最低年齢	最高年齢	平均
男性	76	95	86.0
女性	76	102	91.8

③利用者の状況

・従来型

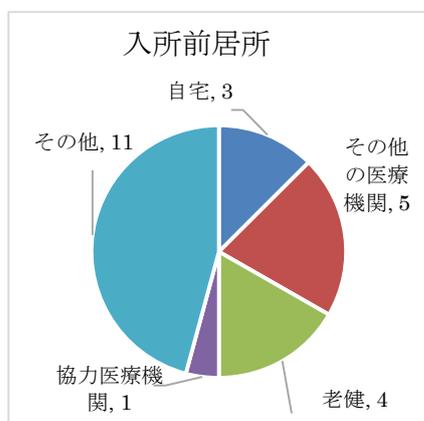
	性別	年間合計数
新規 入園者	男性	9名
	女性	15名
退園者	男性	6名
	女性	17名

・ユニット型

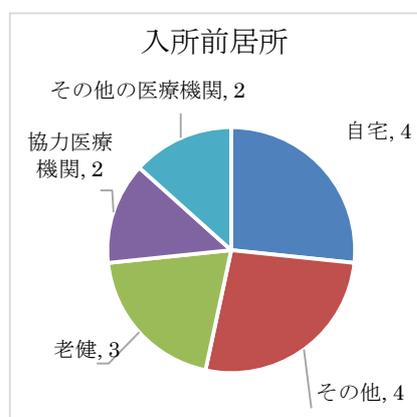
	性別	年間合計数
新規 入園者	男性	3名
	女性	12名
退園者	男性	1名
	女性	9名

④入園前の状況 (単位：人)

・従来型

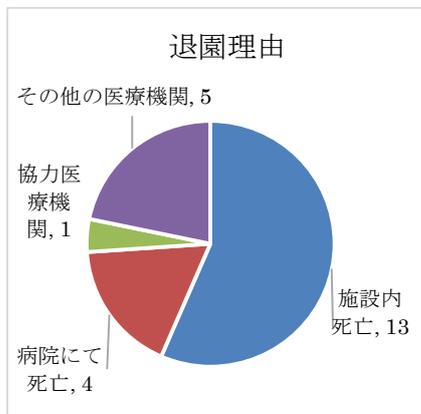


・ユニット型

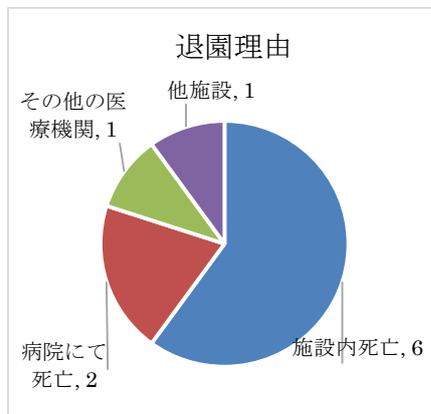


退園理由（単位：人）

・従来型



・ユニット型



⑤介護度別延べ人数

・従来型

年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	介護度平均
R6 年度	0	0	11,519	9,861	2,728	24,108	3.6
R5 年度	0	90	9,470	9,995	3,651	23,206	3.7

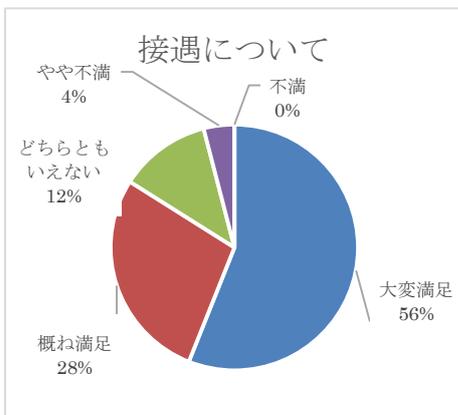
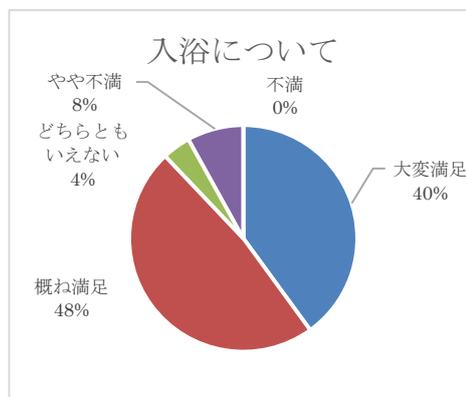
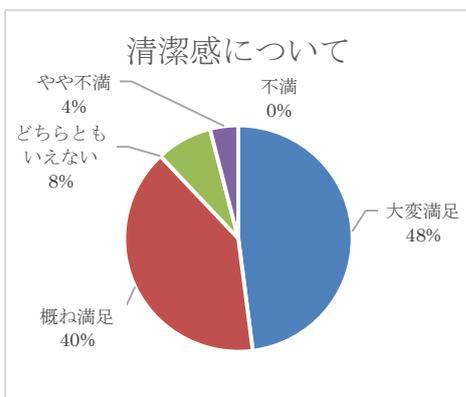
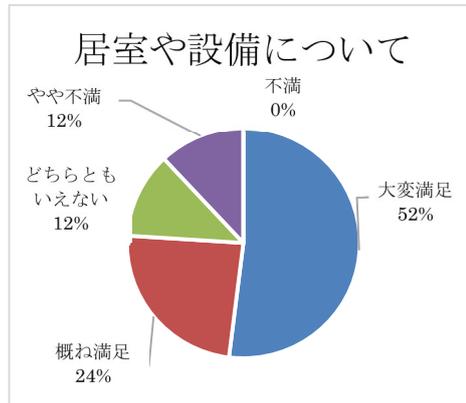
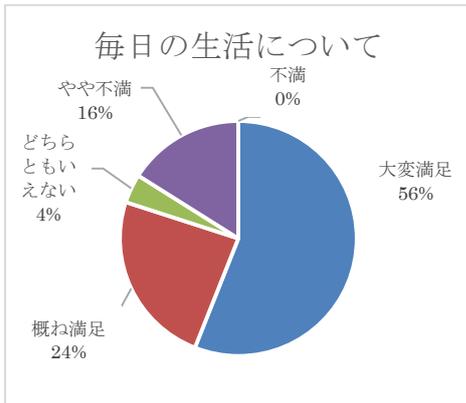
・ユニット型

年 度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	介護度平均
R6 年度	0	0	7,958	3,818	1,766	13,542	3.5
R5 年度	0	0	5,513	5,505	2,026	13,044	3.7

◇ 特養 満足度調査（令和7年3月実施 n=25）

調査目的：利用者の生活向上、職員の意識向上のため利用者の満足度を調査し、より快適に生活して頂くため利用者アンケートを実施した。

※下記5項目について、1.大変満足 2.概ね満足 3.どちらともいえない 4.やや不満 5.不満の5段階評価にて回答してもらった。



アンケートにて頂戴したご意見（抜粋）

<毎日の生活について>

- ・何でもきちんとしてくれる
- ・大変な人が沢山いるのに感心
- ・自由が利かない
- ・職員が無理しているのではと感じる

<居室や施設の設備について>

- ・綺麗にしてもらえる
- ・水道からお湯が出るのが良い
- ・水とお湯が使い分け出来ればなお良い
- ・西日が気になる

<施設の清潔感>

- ・専門の職員が綺麗に掃除してくれる
- ・職員は清潔感がある

<入浴全般について>

- ・ゆっくりと入れる
- ・綺麗に洗ってもらえる
- ・大きな浴槽にも浸かりたい
- ・浴室が広い分寒い

<職員の接遇について>

- ・よく気にかけてくれる
- ・頼み事をよく聞いてくれる
- ・人手不足を感じる
- ・職員によって対応に差はある

b 特別養護老人ホームならやま園

感染症については、新型コロナウイルスが「5類」に移行したものの、感染症の脅威から利用者、職員を守れるよう、気を緩めることなく感染症対策を意識した一年であった。大きなクラスターは過去の経験を活かし、最小限に抑えることが出来たが、令和7年1月インフルエンザ感染でのクラスターがおきた。感染力の強さにより、利用者、職員ともに感染し療養を余儀なくされた。改めて、感染症の脅威を感じたと共に、引き続き、日頃からの感染対策の意識強化に努めていく。

IT 機器については、見守りシステムやインカム、記録のペーパーレス化（ほのぼの導入）などから一年、現在は定着してきており、時間の有効活用に繋がっている。引き続き IT 機器の活用により今後も利用者の安全を守ると共に、職員の負担軽減を目指し、職員が働きやすい職場づくり、利用者や家族が暮らしてみたいと願う生活の場づくりを目指していきたい。

▶ 介護部門（従来型・ユニット型特養）

■ 認知症ケアの充実について

利用者個々の生活歴や病歴、身体の状態の把握や理解に努め、心に寄り添った援助を目指した。家族と過ごせる時間を設けるため、令和6年11月から面会時間を緩和した。新年度は面会時間枠をさらに広げることで、安心や楽しみに繋がる時間を設けていきたい。新年度についても、季節に応じたイベントやレク、希望外出などに取り組み、楽しみのある時間を過ごしていただきたい。人材育成、職場環境について、今年度は、新たに、2名の外国人職員を受け入れている。職員指導を通じて、現場の指導力、チームアップに繋がっている。又接遇マナーについて力を入れ始めている。利用者やその家族、職員同士とのコミュニケーションを円滑にし、より良い介護サービスの提供に繋がっていききたい。挨拶や言葉使い、身だしなみ等の基本を見直し、実践することで利用者への配慮と信頼関係の構築に繋がっていききたい。

■ IT 機器の導入について

IT 機器、見守りシステム、インカム、記録のペーパーレス化については定着してきており、時間の有効活用や、職員の負担軽減、利用者の事故防止や環境改善に繋がってきている。引き続き IT 機器の有効活用を目指し、職員の働く環境、利用者の生活環境の改善に繋がっていききたい。

■ 災害・感染症対策について

地域の防災拠点として、BCP 対策など見直しを実施している。新年度においても BCP 対策の見直し、避難訓練の実施などを行い、利用者の安心、安全確保を目指したい。又感染症対策としても、日頃から準備に備え、研修などにも取り組み、備えることへの意識の継続に努めていきたい。

①在園年数 (R7. 3. 31 現在)

	1年未満	1年～ 3年未	3年～ 5年未	5年～ 7年未	7年～ 10年未	10年以上	計
男性	8名	6名	3名	1名	0名	0名	18名
女性	13名	19名	14名	12名	1名	3名	62名
合計	21名	25名	17名	13名	1名	3名	80名

②利用者年齢構成 (R7. 3. 31 現在)

区分	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	0名	2名	1名	2名	1名	8名	3名	1名	18名
女性	1名	1名	4名	7名	20名	17名	9名	3名	62名
合計	1名	3名	5名	9名	21名	20名	12名	4名	80名

最低・最高年齢 (R7. 3. 31 現在)

	最低年齢	最高年齢	平均
男性	74歳	104歳	88.8歳
女性	72歳	106歳	90.2歳

入退園の状況 (年間)

	性別	年間合計
新規利用者数	男性	9人
	女性	19人
退去者数	男性	4人
	女性	19人

③利用者介護度別延べ人数 (従来型)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	介護度平均
R6年度	0	0	7,443	7,606	3,586	18,635	3.8
R5年度	0	0	7,506	7,780	2,938	18,224	3.8

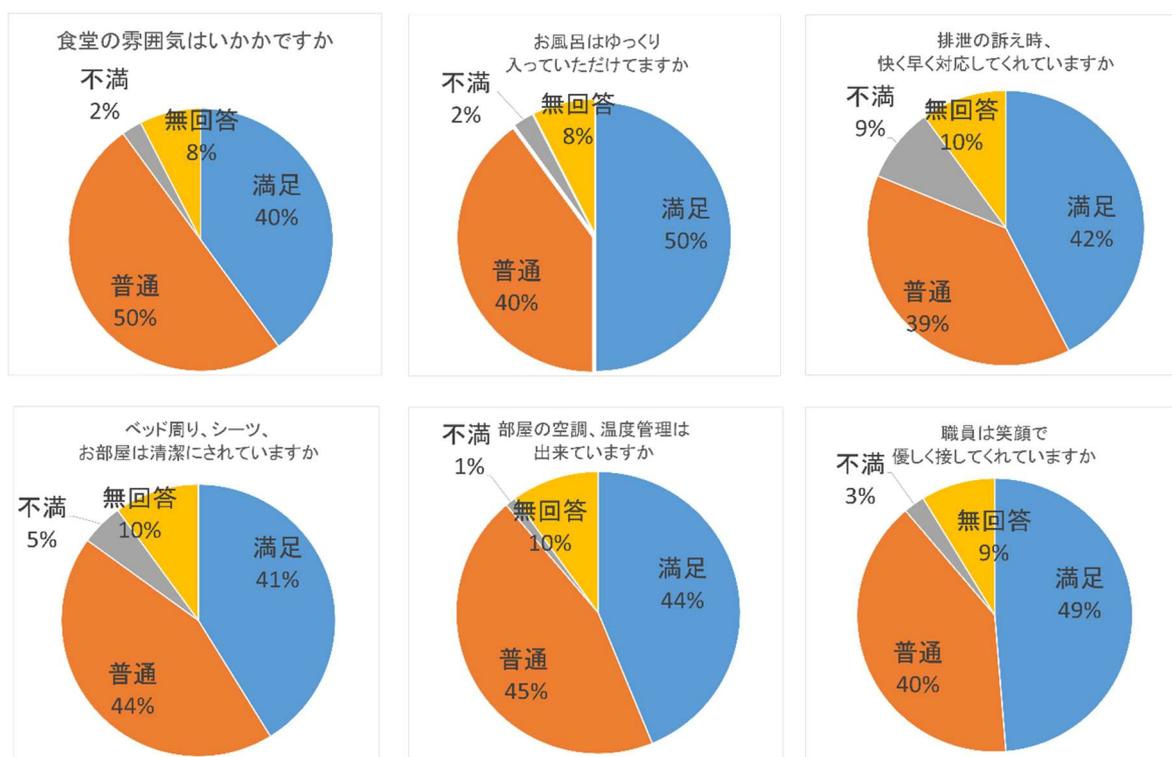
(ユニット型)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	介護度平均
R6年度	0	0	2,727	5,201	2,300	10,228	4.0
R5年度	0	0	4,334	4,889	915	10,138	3.7

◇ 特養 満足度調査 (令和7年3月実施 n=80)

ならやま園では利用者の生活向上、職員の意識向上のために毎年、利用者から満足度調査を行っている。今年度の結果を報告する。

※下記5項目について、1.満足 2.普通 3.不満 4.無回答 の4段階評価にて回答してもらった。



➤ 看護部門

■ 看取り介護の提供について

令和6年度は11人の方を園内で看取った。入院先の病院から、看取り対応で退院された方や、外部へ通院されていた方が通院困難となり看取り対応になられるなど、他の医療機関との連携が必要な方も数名おられた。家族との面談も数回にわたることもあったが、「最期はならやま園がいい」とおっしゃっていただいた。

■ 感染予防対策と知識・技術研鑽について

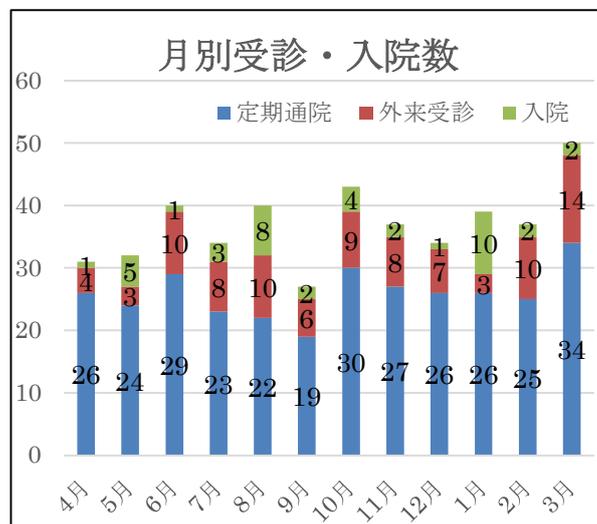
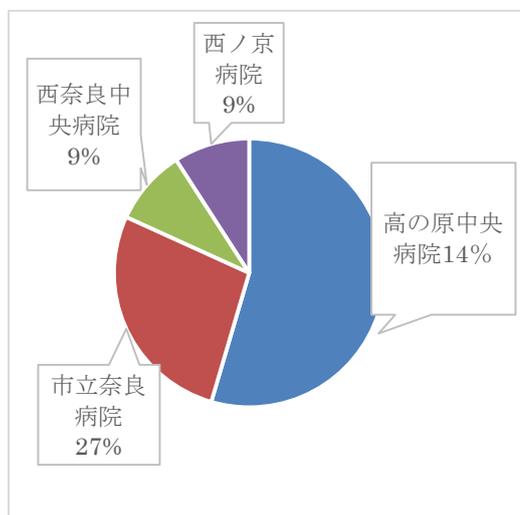
新型コロナウイルスによるクラスター感染が、5月に既存3階フロアで（入園者25人、職員8人）、7月に既存2階フロアで（入園者6人、職員3人）発生した。また、インフルエンザウイルスによる感染も、1月に既存2階で（入園者16人、職員4人）、既存3階で入園者3人が陽性となり、3度のクラスターを経験した。過去の経験から、落ち着いてゾーニングとPPEを実施した。しかし居室の構造や、陽性者の隔離が困難なことが重なり、クラスター発生を防ぐことはできなかった。

■ 職員のメンタルヘルス・フィジカルヘルスを守るについて

ストレスチェックによる高ストレス者は10人であったが、産業医との面談希望者はいなかった。フィジカルヘルスにおいては、有所見者は82人と半数以上いたが精査が必要と医師の指示があった者は4人だった。いずれも、面談や受診を促すが、すでにかかりつけ医がある、通院中であるなど、健康

管理を行っていたため、就業制限がかかることはなかった。

■ 医療機関への受診・入院状況



➤ 機能訓練

- 入居者及び家族の意向を尊重し「身体機能」「精神機能」の維持・向上を図るため日常生活上の動作訓練「生活リハビリ」や科学的根拠に基づいた「個別機能訓練」を実施した。
- 多職種協働の下、「生活リハビリ」のプランを決定、適宜見直しも行った。また、介護支援ソフト「ほのぼの」を使用し個別機能訓練計画書を作成、令和6年度からアプリでの計画書の配信も行った。
- 昨年度同様、感染対策のため十分に介入できないことがあり、さらに基礎疾患の影響や加齢のため機能低下を認める入居者もおられた。機能訓練指導員だけでは時間や感染対策上、介入困難な場合もあったが入居者が安全安楽に過ごせるよう多職種協働の下、対応できた。
- 感染症対策・対応として、普段から細心の注意を払い、自身が媒介とならないよう機能訓練指導員・入居者双方、またはどちらかに感染リスクがある場合は接触を避け、状況に応じて柔軟に対応した。
- 入居者が安全安楽に過ごせるよう、ポジショニングやシーティングの改善のため介護職員への指導・助言を行った。更にクッションや車椅子を購入した。

(単位：人)

	居室訓練 (フロア)			ベッドサイド (居室)			合計
	従来型	ユニット型	合計	従来型	ユニット型	合計	
R6 年度	1,517	375	2,270	228	207	435	2,705
R5 年度	1,275	516	1,791	345	441	786	2,577

➤ 栄養管理部門

■ 栄養ケアマネジメントの実施について

今年度も多職種協働で個々の利用者の状況に対応した食事提供に取り組み、特養利用者に栄養ケアマネジメントを実施できた。食事療法が必要な方には療養食の提供も行っている。今後も利用者が健康を維持して頂けるよう取り組んでいきたい。

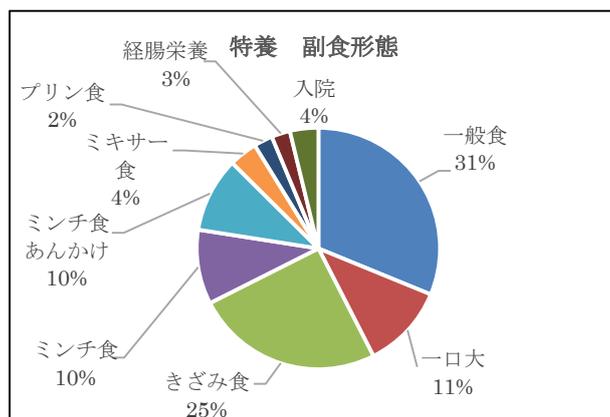
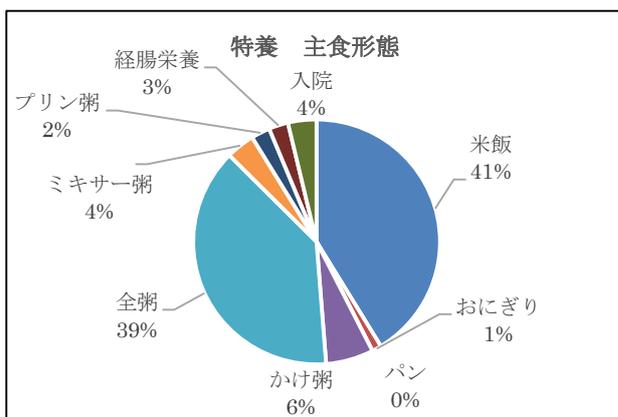
■ 家庭的で季節感のある食事や、誕生食、好み食、選択食、行事食等の実施により、日常生活に変化や楽しみのある食事の提供を行うことができ好評である。特に誕生食や旬の食材の使用は大変喜ばれている。おやつレクリエーションも実施し、大変喜んで頂けた。食材料費や人件費の高騰により給食業務が厳しい状況だが、給食業務を見直し、継続して安全で喜ばれる食事の提供ができるよう取り組んでいきたい。

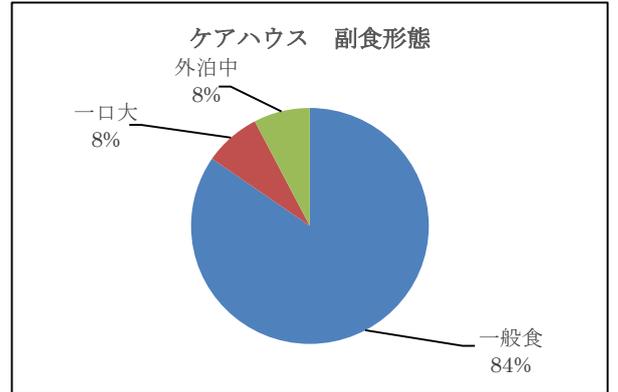
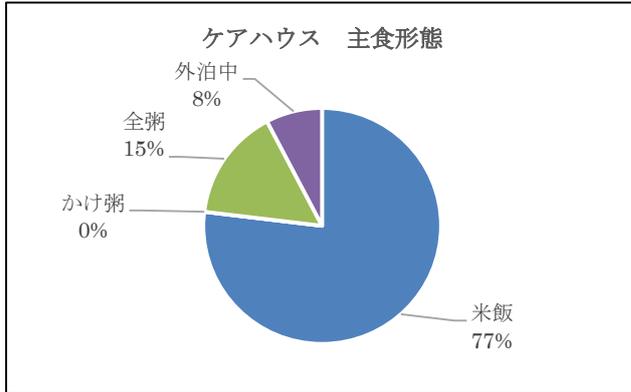
■ 喫食状況を確認し、利用者や職員と会話をする中で嗜好や嚥下状態等を把握し、献立や調理、盛付等、食事内容の向上に取り組んできた。

■ 大量調理衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理に努めてきた。食中毒予防や感染症対策など安全な食事の提供に施設全体で取り組みを行うことができた。

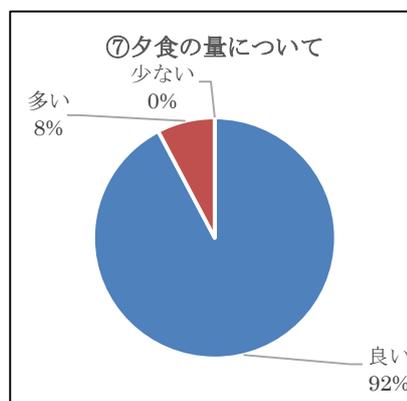
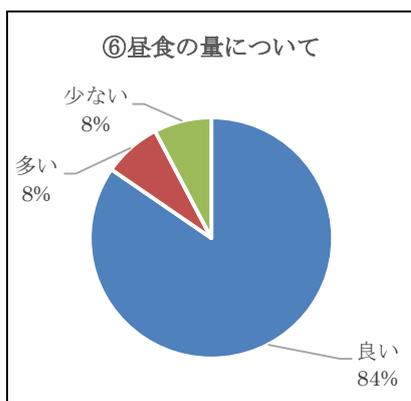
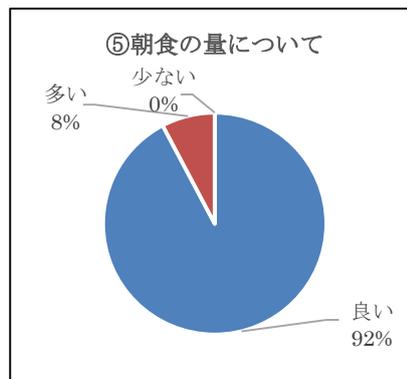
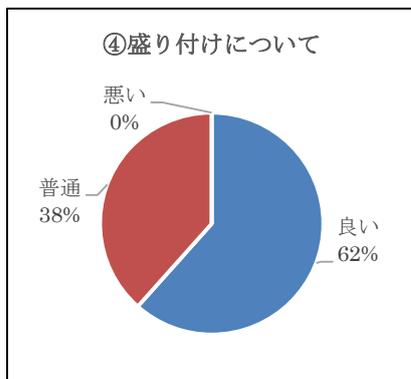
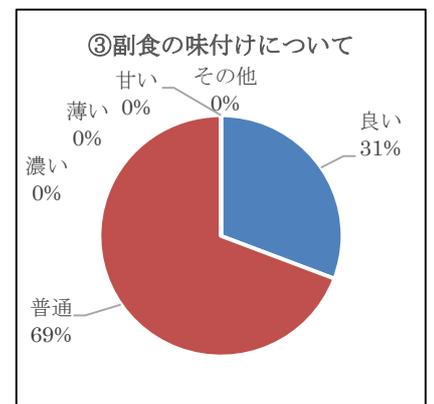
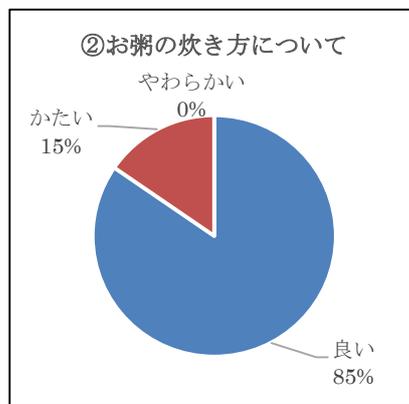
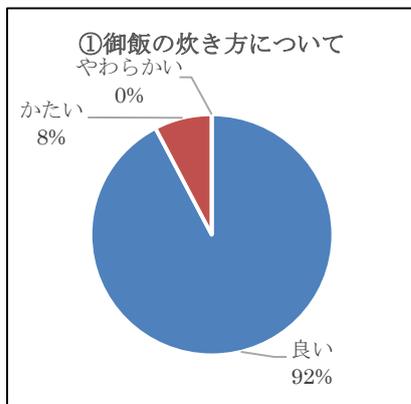
■ 非常食を使い捨て容器と共に利用者 3 日分を備蓄している。賞味期限を把握し、献立に入れる事で無駄なく入れ替えを行うことができた。又、非常食使用時は利用者や職員に意識喚起を行った。

食事形態（令和 7 年 3 月 31 日夕食現在）





◇ケアハウス満足度調査（嗜好調査）結果
令和7年1月実施 回答率100%



⑧今後希望される料理

- ・刺身 ・散らし寿司 ・寿司（2名） ・オムライス
- ・おいしいステーキ ・きつねうどん ・すき焼き ・肉料理 ・豚料理
- ・魚料理 ・鍋料理 ・おでん ・茶碗蒸し ・ポテトサラダ
- ・野菜炒め ・コーンスープ

⑨食事についての満足度を100点満点で評価

平均86.4点

⑩その他、食事に関する意見、希望（抜粋）

- ・美味しい食事を毎日ありがとうございます。
- ・近來すべての材料費が値上がりし、献立にも御苦勞なことと思ひ感謝しております。
- ・家庭的な味付けがとても良い。
- ・楽しい食事等、ワクワクする食事をたまにはお願いしたい。
- ・食事は今で十分ですが、食後にフルーツが付くと嬉しいです。

➤ ボランティア部門

- 令和6年度のボランティア活動は、特養・ケアハウス・デイサービスの利用者への、喫茶の提供、おやつ販売、慰問やイベント、移動スーパーに関する手伝いなどの援助を実施した。引き続き利用者を癒せる援助に取り組んでいく。

② ショートステイサービス

a 平城園ショートステイサービス

令和6年度においても感染症発生時のフロア変更等を除いては、利用者の要望に応じ調整を行い、期待に沿ってサービスを利用いただくことが出来た。

定期的に利用いただいていた利用者の逝去や施設入所での利用停止が生じたが、並行して新規利用者の定着化を図り、数名については安定した定期利用となっている。

また、居宅支援事業所と連携し、入所待機としてロングショートでの受け入れも一部行うことで、施設入所までの繋ぎの役目を果たしつつ、自施設への入所の円滑化を図った。利用者や家族からご要望やご指摘をいただいた際は、現場職員と共有して課題解決にあたり、より良い関係性の維持に努めた。

	延利用 日数	利用者 数	介護度別利用日数						
			要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5
R6 年度	2,925	350	4	15	181	972	1,093	573	87

R5 年度	3,104	286	1	1	83	712	955	1,249	103
増減	-179	+64	+3	+14	+98	+260	+138	-676	-16

b ならやま園ショートステイサービス

- ▶ ショートステイサービス体制の再構築をはかる。

令和6年1月より約1年間、ショートステイの定員を縮小して運営せざるをえない状況となり、皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなった。ショートステイ再開にあたり、職員の確保はもちろんの事、職員の資質向上、サービスの質の向上を図り、様々なニーズに合わせた対応が行えるよう体制を整え、R7年1月より徐々に定員を拡大し、現在、通常運営を行っている。

- ▶ 体制の再構築にあたり、各事業所と連携し、既存利用者の利用再開の依頼、新規利用者の受け入れを行い、安定稼働を目指す。

ショートステイ再開を心待ちにしてくださっていた利用者はもちろん、新規の利用者も増加傾向にある。今後も各事業所、各専門職と連携・情報共有を行い、利用者及び家族に安心・安全にサービスをご利用して頂けるよう努め、新規、緊急ショートも積極的に受け入れ、安定稼働を図っていく。

- ▶ 引き続き、感染症対策を含めた共通理解を深め、安全な受け入れを提供する。

R7年1月中旬～2月上旬にかけ、インフルエンザ流行に伴い、ショートステイの受け入れを一時中断せざるを得ない状況であった。医務室と連携を取りながら適切な対策を行い、速やかに終息することができた。引き続き感染症対策を徹底し、安心安全に生活を送ることができる環境づくりに努めていく。

	延利用日数 (日)	稼働率 (%)	延利用 数(人)	介護度別利用日数(日)							
				区変 中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
R6年度	2421	41.5	125	0	3	0	4	58	1,216	1,076	64
R5年度	3145	53.9	287	0	0	0	57	233	1,322	1,591	510
増減	-724	-12.4	-162	±0	+3	±0	-53	-175	-106	-515	-446

③ グループホーム アクール

令和5年6月1日に法人初の地域密着型サービスとして、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）を開設した。

開設以降、利用者及び家族と築いてきた関係性をより強固なものにできるよう、令

和7年度においても質の高いサービス、認知症ケアの実践に努めていきたい。

➤ 認知症ケアの充実

認知症ケアの専門性をより高めるために開催される「奈良県認知症介護実践者研修」「同リーダー研修」を修了した職員を中心に、ご利用者個々のニーズや心身の状態、またご利用者の生活歴や家族歴、歩んでこられた人生の歴史を尊重したケアの提供に努めている。

引き続き、深みのある認知症ケアの実践に努めていきたい。

➤ 地域に根付いたホームづくり

開設以降、2カ月に一回の頻度で定期的に運営推進会議を開催している。自治連合会長民生委員代表、包括支援センター職員、ご家族が参加し、施設運営に関して積極的な意見交換を行い、サービスの質の向上、地域における関係づくりに努めてきた。

次年度以降も引き続き、定期的な会議の運営を通じて、より地域に根付いたホームとなるよう努めていきたいと考える。

➤ 安定した施設運営を目指す

開設当初は人員体制の都合により1フロア（9名）の稼働となっていたが、徐々に職員の採用が進み、令和6年8月より2フロア目の受け入れも稼働した。

令和7年度においては、2フロア目の安定稼働（18名満床）を早期に目指すと同時に、ご利用者が少人数・家庭的な雰囲気の中で安心感を得ながら、穏やかに生活していただける環境づくりに努めていきたい。

④ 軽費老人ホーム

a ケアハウス ニューライフならやま

令和6年度においては新規入居者が入居の時点でこれまでよりも、高齢で介護度も高いといった傾向がみられた。それに伴い、日常生活において各入居者に対する支援量も増加傾向となった。

支援量の増加をきっかけにより良好な信頼関係を構築すべく職員がかかわる時間を増やすように意識して取り組んだ。これにより入居者の精神的ストレスや生活の中で不安を抱かれる場面が幾分か軽減された。イベントも少しずつ規模や範囲を拡大し、個別外出などにもチャレンジし、入居者の個々の思いを尊重し、精神面・身体面の様子を重視しながら不安無く安心して生活して頂ける様に心がけた。

介護度（令和6.3.31現在）

	自立	要支援	介護1	介護2	介護3～5	合計
男性	0名	0名	1名	1名	0名	2名
女性	1名	4名	2名	7名	1名	13名
小計	0名	4名	2名	7名	1名	15名

⑤ サービス付き高齢者向け住宅

a サービス付き高齢者向け住宅ヴィラ秋篠

【事業計画に対して】

- コロナ以前に実施できていたサービスやイベントについては第一四半期のうちにすべて復活させることができた。
- 合同で実施するイベントを中心に、上半期の内にケアハウスやアクールとの連携について深めることができた。
- 大規模災害におけるBCPについてはベースとなる案については立ち上げることができたが、内容の見直しやより現状に即した形でのマニュアルの整備までには至らなかった。
- 相談員業務の移行を中心に部署内の常勤職員に役割を設けトライアンドエラーを繰り返すことで、予定通り職員の育成に努めた。

【総括として】

グレイス福寿のオープンをきっかけに、経費の削減、人材育成、業務の見直しにも取り組んだ。成果については道半ばでありこれからというところではあるが、管理者依存の体制を脱却し、より強い組織として地域やご利用者に寄り添えるよう改善を図っていきたい。

・月別入居契約数（毎月1日時点）

月	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	平均
契約戸	45	46	46	46	46	46	46	46	46	45	45	46	45.7
契約率	98.9	100	100	100	100	100	100	100	100	98.9	97.8	98.9	99.5

・年度内退去者 件 9名（男性5名 女性4名）

退去先内訳 ・法人内特養 3名 ・長期入院 2名 ・死去 2名 ・療養病床 2名

・年度内契約者 件 9名（男性1名 女性8名）

契約動機内訳 ・法人内紹介 4名 ・ロコミ 2名
・他法人居宅紹介 2名 ・インターネット 1名

・契約者数内訳：人（性別）

性別	契約数
男性	13
女性	35
合計	48

・年代別内訳：人（重要事項説明書に基づく）

年代	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上	合計
合計	0	1	9	38	48

・介護度別内訳：人（重要事項説明書に基づく） 平均介護度：介護1

介護度	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
合計	2	5	7	14	10	8	1	0	48

・福寿会在宅部門利用者数

内訳 ・居宅…29名 ・訪問介護…28名 ・訪問リハ…1名 ・通所介護…10名

・食事 契約者数…47名 3食自炊…1名

・食事提供数

（単位：食）

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均	日平均
朝食	882	849	819	820	823	825	825	811	803	799	723	786	9765	813.7	26.7
昼食	853	884	819	803	829	832	832	847	861	886	755	814	10015	834.5	27.4
夕食	1123	1164	1072	1045	1064	1056	1056	1117	1141	1145	1032	1113	13128	1096	35.9
月合計	2858	2897	2710	2668	2716	2713	2713	2775	2805	2830	2510	2713	32908	2742.3	90.1

・生活相談件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	326	336	320	331	328	341	355	348	311	316	322	322	3956	329.6

・健康相談件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・有償サービス利用件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	67	53	55	56	64	53	55	63	58	78	90	102	796	66.1

・入居活動件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
営業	6	9	8	9	11	12	16	6	51	51	72	79	330	27.5
問合せ	5	8	11	6	8	6	8	6	5	6	5	5	79	6.5
見学	3	7	6	7	6	8	9	4	3	3	4	3	63	5.2
見学者	7	10	9	11	11	13	16	6	5	6	6	7	107	8.9
入居相談 面接	8	9	9	9	11	14	16	6	4	3	4	2	95	7.9

・イベント実施報告

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
実施数	24	27	30	28	29	24	23	15	17	14	27	28	286	23.8
参加者	187	321	274	264	296	259	248	192	222	201	164	160	2788	232.3

・生活支援バス利用者数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
利用者	192	212	216	219	228	211	222	211	232	229	130	146	2448	204

b サービス付き高齢者向け住宅グレイス福寿

福寿会 2 棟目のサービス付き高齢者向け住宅として無事、11 月 16 日にオープンすることができた。ヴィラ秋篠で培ってきたノウハウをベースに、より発展的な運営ができるよう試行錯誤を繰り返している。

ヴィラ秋篠よりも居室のタイプにバリエーションがあるため、営業担当の職員を増員し、相手のニーズに沿った営業活動ができるようになること、それに応じて早期の満室を目指していきたい。

・月別入居契約数（毎月 1 日時点）

月	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	平均
契約戸	—	—	—	—	—	—	—	9	10	15	20	25	15.8
契約率	—	—	—	—	—	—	—	17	19	29	39	49	30

・年度内退去者 0 件 0 名（男性 0 名 女性 0 名）

・年度内契約者 25 件 28 名（男性 5 名 女性 23 名）

契約動機内訳 ・法人内紹介 8 件 ・他サ高住から 1 件

・他法人居宅紹介名 12 件 ・インターネット 4 名

・契約者数内訳：人（性別）

性別	契約数
男性	5
女性	23
合計	28

・年代別内訳：人（重要事項説明書に基づく）

年代	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上	合計
合計	2	0	5	21	28

・介護度別内訳：人（重要事項説明書に基づく） 平均介護度：介護1

介護度	自立	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
合計	3	1	3	14	5	1	1	0	28

・福寿会在宅部門利用者数

内訳 ・居宅… 10名 ・訪問介護… 5名 ・訪問リハ… 0名

・通所介護…12名 ・通所リハ…1名

・食事 契約者数… 26名 3食自炊… 2名

・食事提供数

（単位：食）

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均	日平均
朝食	—	—	—	—	—	—	—	74	263	314	389	596	1636	327.2	10.8
昼食	—	—	—	—	—	—	—	40	173	214	280	436	1143	228.6	7.5
夕食	—	—	—	—	—	—	—	82	322	370	457	668	1899	379.8	12.5
月合計	—	—	—	—	—	—	—	196	758	898	1116	1700	4678	935.6	30.9

・生活相談件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	—	—	—	—	—	—	—	72	88	98	112	201	571	114.2

・健康相談件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0

・有償サービス利用件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
件数	—	—	—	—	—	—	—	3	6	6	9	13	37	7.4

・入居活動件数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
営業	—	—	—	—	—	—	—	19	51	51	72	79	272	54.4
問合せ	—	—	—	—	—	—	—	24	29	9	12	11	85	17
見学	—	—	—	—	—	—	—	11	18	12	10	9	60	12

見学者	—	—	—	—	—	—	—	17	26	17	16	15	91	18.2
入居相談 面接	—	—	—	—	—	—	—	24	20	11	11	14	80	16

・ イベント実施報告

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
実施数	—	—	—	—	—	—	—	0	22	14	14	28	78	15.6
参加者	—	—	—	—	—	—	—	0	67	72	68	137	344	68.8

・ 生活支援バス利用者数

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
利用者	—	—	—	—	—	—	—	8	23	30	33	22	116	23.2

(2) 通所系

① デイサービス

a 奈良デイサービスセンター

令和6年11月4日からサービス付き高齢者住宅 グレイス福寿一階へ移転した。今までと同様に、住み慣れた家でその人らしく生活が出来るように自立支援に重きを置いたサポートを行う。

➤ 営業力強化について

他部署の相談員、特にならやま園デイサービスセンターと空き状況や特徴等を互いに把握し、ご家族やケアマネージャーへ説明を行い見学や体験利用へ繋がった。今後は、奈良デイサービスセンターだけでなく福寿会で利用者を支援できるよう各相談員と連携を取っていく。

➤ ICT活用について

移転前はインカムを使用しフロアの職員間の指示やコミュニケーションが取れた事で連携強化に役立った。送迎作成ソフトを導入した事で作成時間が大巾に軽減した。請求書や明細をアプリへ変更した事で書類送付の業務軽減とペーパーレスにも繋がった。

➤ 保育や住宅部との交流

福寿会マミーズ保育園とは近い距離で交流を行っていた。移転してからも保育園児の散歩の立ち寄り場所となり子どもと利用者との交流ができています。グレイス福寿の屋上より桜のお花見イベントを一緒に実施した。今後も色々なイベントを企画していく。

要介護度別延利用者数

年度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	営業日数	平均/日
R6年度	995	2428	1691	1070	996	396	7576	307	24.67
R5年度	796	1714	1838	1265	603	272	6488	294	22.0
増減	+199	+714	-147	-195	+393	+124	+1088	+13	+2.67

b ならやま園デイサービスセンター

- 業務の整備、勤務形態の見直しを行う事で業務時間内に業務を開始、終了する事ができた。その分、利用者へのサービス還元に努めた。
- 広報誌、SNSを活用する事でサービスの見える化を行い、利用者家族への安心・信頼感を得る事に繋がった。また新規利用者獲得のツールともなり、利用者数や利用頻度の増加に繋げる事ができた。
- デイサービス内で過ごすだけでなく季節を感じてもらおうイベントを企画する事で非日常を味わって頂けた。
- 今年度も利用者や職員にインフルエンザやコロナウィルスの発生があったが、大きな拡大には至らず営業を継続する事ができた。引き続き平素時の感染対策を行っていきたい。

要介護度別延べ利用者数								合計	営業日	平均/日
年度別	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障			
R6年度	488	924	1,832	1,705	781	498	0	6,228	308	20.22
R5年度	525	728	1,888	1,584	784	788	0	6,297	308	20.44
増減	-37	+196	-56	+121	-3	-290	0	-84	0	-0.54

c あきしの整形外科クリニックデイケアセンター

- 各地域包括支援センターに主にお知らせし、11月に新規開設することができた。その後、送迎の供給が追い付かない程順調に利用の需要が見られた。営業に際しての様々な課題を解決しながら、徐々に利用者を受け入れ、登録数を増やす事が出来た。感染症等の大きな問題は見られなかったが、今後しっかりリスク管理を行い様々な事象に備えていく。

介護度別利用人数						
	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	介護度別合計
要支援 1	0	2	18	24	29	73
要支援 2	0	18	30	38	53	139
要介護 1	0	10	10	21	40	81
要介護 2	0	15	20	27	31	93
要介護 4	2	4	4	4	3	17
月別延べ人数	2	49	82	114	156	403

(3) 訪問系

① 訪問介護ステーション

a 平城園ホームヘルプステーション

- ▶ 家族や他事業所と連携し、ケアプランに基づいた質の高いサービスが提供できた。また訪問介護員に接遇研修や虐待研修を定期的で開催している。
- ▶ 訪問介護員の人材確保については SNS の活用などを通して若年層の採用につながるような情報発信を行っている。今年度は 40 代の職員も入職があったので引き続き採用活動を積極的に行う。
- ▶ ペーパーレス化に向けた取り組みとしては、記録アプリはすべての職員が問題なく使用することが可能になった。利用者への請求書に関しても概ねペーパーレス化が出来ている。

訪問介護・介護予防延数

	介護	予防	計
R6 年度	5,523 件	1,681 件	7,204 件
R5 年度	5,419 件	1,903 件	7,322 件
増減	+104 件	-222 件	-118 件

b ならやま園ホームヘルプステーション

- ▶ 利用件数に関しては、若干名だが増加した。新規受託は可能な限り受け収益を上げる努力をするとともに、コスト意識を持ち、安定経営を目指した。利用者に寄り添うケアを心掛け個別のニーズに応じた身体介護、生活援助の支援を提供してきた。ヘルパー会議や研修等での情報共有を継続し、サービス提供体制やサービスの質を維持していきたい。
- ▶ 令和 6 年度は訪問介護員の新規採用はなく、14 名体制で活動した。退職者はなく、定着率は良いが、今後利用者増加の予測に向けて、新たな人材確保が早急課題である。

- ▶ ペーパーレス化に向けた取り組みとしては、訪問介護員の記録アプリへの登録、ご利用者への請求書のアプリ化をすすめ、おおむね達成できた。

訪問介護・介護予防延数

	介護	予防	計
R6 年度	5,971 件	1,558 件	7,529 件
R5 年度	5,715 件	1,509 件	7,224 件
増減	+256 件	+49 件	+305 件

② 訪問リハビリテーション

- a 平城園診療所訪問リハビリテーション
- b あさしの整形外科クリニック訪問リハビリテーション

利用者及び家族の意向を尊重し、在宅生活に必要な身体機能・能力の低下予防を図る事、又は動作方法の指導等を行った。

- ▶ 利用者一人一人を主観的及び客観的に評価した上で、適切な目標を設定し計画に基づいた訓練を行い、医師・介護支援専門員と連携し、地域包括ケアの一員として利用者の日常生活の自立と社会参加を促進し、利用者から満足しているという反応を受けている。
- ▶ クリニックでのリハビリ期間が終了となり、介護認定を受けておられる方が利用につながり新規利用者増となったが、11月にクリニック併設のデイケアセンターが開所し、同施設の対象となり機械による筋力運動やある程度時間を要した運動が必要と思われる方への移行を勧めた。それと同時に目標達成や引っ越しによる終了も重なり訪問リハビリ利用者の減少となった。

利用件数

R6 年度	448 件
R5 年度	324 件

(4) 居宅介護支援事業所

- a 平城園在宅介護支援センター

令和6年度は年度途中までは前年度の収益を上回る好調さで推移していたが、年が明けてからは1名退職に伴い、残る3名のケアマネが担当件数上限まで持ち、担当しきれないケースについては他事業所へ移譲する事となったため、当事業所の総担当件数は必然的に減少し、1月から3月期については減収となった。

- ▶ 介護支援専門員の専門性の向上
 1. 医療機関との連携の強化⇒医療連携アプリの活用。
 2. 地域包括支援センターからの困難ケースの受託⇒6年度は2件受託。
 3. 外部の研修および会議への積極的参加⇒外部の法定研修、ヤングケアラー、障

害者、生活困窮者、難病患者などの研修にも積極的に参加。

4. 介護支援専門員実務者研修受け入れ⇒令和7年3月末に1名を受け入れ。
5. 圏域内の他の居宅介護支援事業所との勉強会⇒R6年度は計3回実施。
6. 毎週火曜日の部署内定例会議⇒月平均4回開催し情報共有。
7. 公正中立なサービス選択について⇒年に2回、6カ月毎に集計し説明。
8. 24時間連絡可能な体制の維持、確保⇒全員が社用のスマートフォンにて休日と夜間にも対応。

▶ 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みへの参画

地域包括ケアシステムにおける多職種連携については、毎月1回、WEB形式で開催される自立支援型ケア会議に参加。

・利用者延件数(ケアプラン作成) (単位:件)

	予防(件)	介護(件)	合計(件)
R6年度	976	1,513	2,489
R5年度	953	1,541	2,494
増減	+23	-28	-5

b ならやま園居宅介護支援事業所

令和6年度は従来通りの対面での支援体制が再開され、積極的に利用者宅訪問も行えるようになった。昨年度末より引き続き、ケアマネジャーの入職・退職・異動等による事業所内の目まぐるしい環境変化の中、従来の業務に加え、人材の指導・育成に注力する年度となった。

▶ 地域包括支援センターとの連携と支援困難ケースの受託について

介護予防ケアマネジメントに関しては奈良市9包括との給付管理を伴う連携や情報共有を行い、積極的に支援困難ケースの受託に努めた。また、包括支援センター主催の自立支援地域ケア会議(リモート)にも毎月出席した。

▶ 業務の効率化とケアマネジメントの質の向上について

今年度は対面で事業所内会議を計50回開催し、情報共有や研鑽の継続に努めるとともに、同圏域の他居宅介護支援事業所との勉強会をリモートで年5回行い、情報交換を図った。また、LINEでの事業所内の情報共有やMCSの活用による医療機関との適宜連携にも注力した。

▶ 地域福祉への貢献について

地域ニーズを把握出来るように担当者を決めて月1回定期的に地域サロン(4ヶ所)に参加し、対面での地域活動への参加を再開した。

▶ 介護ケアマネジメントの適正化について

相談内容の多様化や支援困難ケースの増加の中、公正かつ中立なサービスの選

択、利用者の意思決定支援を心掛けて支援にあたっている。

- ケアプラン作成件数と認定調査について
ケアマネジメントの質の向上の一つとして行っている奈良市委託事業である認定調査を意欲的に受託している。

利用者延件数（ケアプラン作成）

	予防	要介護	計
R6 年度	758	1,756	2,514
R5 年度	709	2,022	2,731
増減	+49	-266	-217

認定調査受託件数（市町村委託総数）

R6 年度	143
R5 年度	37
増減	+106

(5) 配食サービス

- 事業を継続していくために給食業者及び奈良市に正しく現状を伝え、今後の検討を進めていくつもりで臨んだが諸事情を考慮し経営的な判断から事業継続は難しいと判断し、8月31日をもって事業廃止となった。
- 廃止に際してはお客様や地域のケアマネに丁寧な説明を重ね、お客様に迷惑をかけないように可能な限り、次の事業者の紹介をさせていただいた。
- 長年にわたりお弁当の配達を通じて地域の皆様の見守り役として、関わらせていただきありがとうございました。

実施状況

・奈良市からの委託配食数 ・自費による配食数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
市委託配食数	1,239	1,339	1,161	1,200	1,033	-	-	-	-	-	-	-	5,972
自費による配食数	770	740	669	760	694	-	-	-	-	-	-	-	3,633
合計	2,009	2,079	1,830	1,960	1,727	-	-	-	-	-	-	-	9,605
配食日数	26	27	25	27	27	-	-	-	-	-	-	-	132
1日平均配食数	77.2	77.0	73.2	72.5	63.9	-	-	-	-	-	-	-	72.7

①奈良市よりの新規委託件数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規件数	0	3	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	3

② 令和6年度利用者数（令和6年8月31日時点配食者数）

- ・奈良市委託分 95名
- ・自費 57名

(ア) 地域公益活動報告

- 【福寿会コミュニティバスの運行】と【地域清掃】については再開の方法を法人として協議を重ねた。

コミュニティバスについては、車両の確保と実施担当部署の決定にまで話がまとまらず持ち越しとなった。地域清掃については春先に実施検討を進めたが、担当部署に感染症が発生し実施は見送りとなった。

どちらについても、新年度については再開を目標に段取りを進めたい。

- 本年度より本格開催となった平城地区のサロン活動再開に法人として参画した。毎月第3木曜日を担当し、地域の方のよりどころとして会場を提供し、リハビリ体操を中心に運営を行った。

また運営に当たっては地域で足並みをそろえるために、地域の担当者間で定期的に懇談会を設定し情報共有を図った。参加者は平均7名程度であるが、地域のニーズを拾いつつも地域の中からリーダーの発掘、またそれら人材の育成を行っていきたい。

元気サロン（平城園会場参加者数）

	R6.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3	合計	月平均
利用者	14	14	15	11	11	10	11	9	11	9	8	9	132	11

- 令和6年7月21日に第2回健康フェアを実施した。今回のテーマは地域への防災教育を柱として企画を進めた。企画にあたっては今回よりプロジェクトリーダー制を用いて進め、その他、非常食チーム、介護技術チーム、筋力測定チーム、会場案内・アテンドチームに職員を配置した。当日は前回好評であったキリン堂薬局の測定ブースのほかに、炊き出しの豚汁を配布したり、地域の避難所の案内や災害時に役立つ介護技術の紹介、奈良県警の協力のもと子ども向けにパトカーの試乗体験会を開催。また座学として遺産相続や災害時を想定したスマホ講座や詐欺被害にあわないための啓発講座などを開催した。来場者からは次回も参加したいという声とともに54名からアンケートを回収することができた。

(6)委員会活動報告

➤ 平城園委員会活動

a 研修委員会

園内研修についてはお茶の水ケアサービス学院のネット配信サービスを継続利用し、各部署での動画研修・確認テストを実施した。外部講師による研修としては、協力医療機関である白庭病院による感染症対策研修、ゆめはんな歯科による口腔衛生研修に加え、接遇マナーアップ研修・クレーム対応研修・パソコンスキル研修・メンタルヘルス研修、管理職対象のチーム力UP研修を実施いただき、それぞれ貴重な学習機会となった。また、行政主催の虐待防止研修に参加した職員から伝達講習を実施し、施設職員への情報共有を図った。

b 感染症委員会

委員会開催時には、各部署の感染拡大への意識向上の為、定期的に園内のラウンドを継続して行い、チェック項目については、委員メンバーにて適宜内容の見直しを行った。令和6年8月に新型コロナウイルスによる、利用者と職員のクラスター感染が発生したが、多職種との連携により、感染拡大防止に向けた対策を実施し、終息した。クラスター感染の状況を踏まえ、『新型コロナ・インフルエンザ陽性に伴う隔離の際の注意事項』を委員会にて作成し、感染が疑われる場合の瞬時の対応を各職員へ周知した。

また、本年度より協力医療機関である白庭病院との連携をとっており、感染症発生に備えた研修及び訓練の実施、発生時の相談対応など、医療連携による感染対策が強化された。

c リスクマネジメント委員会

令和6年度は骨折4件、その他に内出血、転倒の事例は多数生じた。徹底した対応策を講じ、リスクに対し予測を立てながらも、疾病、認知力低下等の要因から防止困難な方もいたが、観察の眼、危険予知の意識が低下しないよう、情報共有を通し委員から繰り返し発信に努める必要がある。また、不適切ケアについて一層、意識を高める年であった。不適切ケアについて皆で考え、話し合う・注意し合える風通しの良い環境づくりが求められる。職員一人ひとりが適切なケアの意識を維持できるように、委員を活かしたい。

➤ ならやま園委員会活動

a 研修委員会

人員配置や感染症対策の観点から、集合研修の開催については、課題が残っている。しかしオンライン研修の導入・定着により、仕事の合間に受講が出来るようになり時間の有効活用に繋がっている。またどの時間帯にも受講が可能になり、全職員が対象と受講者が増えたことにより、ケアの統一にも繋がっている。新年度も引き続き、法定研修以外にも、その時に必要な最適の研修内容を準備することで、介護力

の底上げを目指していきたい。

b 感染症委員会

毎月、フロアごとに感染状況報告書を作成した。昨年から引き続き、感染症発症時にはゾーニングとPPEに早急に取り組み、感染拡大防止に努めた。物品を常備しておくことで初動対応がスムーズにできるようになっている。

c 危機管理委員会

今年度も年2回の避難訓練、地震・風水害・土砂災害の避難訓練について実施。BCPについては、策定したものを本格的に始動していくため園内・法人内で共有に努めた。施設内の事故については、事故報告書の一部（アクシデント・インシデント・ヒヤリハット）を電子化し、PC内での原本保存をできるようにした。また各部署で上記報告書を一覧にしたデータベースを作成し、全報告書とリンクさせることで容易に内容の閲覧および事故の振り返りをできる状態にしている。

引き続き、振り返りが必要な事故は皆で共有を行い再発防止に努めていく。今後も大きな事故が起きないように介護ロボット（見守り機器・インカム等）を活用し、対策を検討していきたい。また身体拘束・虐待防止についても、適正化にむけてマニュアルの見直しや研修に力をいれていきたい。

➤ 令和5年度実習生受け入れ状況

☆平城園

学校名	人数	期 間
青丹学園(介護福祉課)	1名	令和6.5.13 ~ 6.7 (19日間)
青丹学園(看護学科)	4名	令和6.6.3 ~ 6.6 (4日間)
	4名	令和6.6.17 ~ 6.20 (4日間)
	4名	令和6.7.1 ~ 7.4 (4日間)
	4名	令和6.7.8 ~ 7.11 (4日間)
	4名	令和6.7.22 ~ 7.25 (4日間)
介護労働安定センター	1名	令和6.11.13 ~ 11.19 (5日間)
平城中学校	3名	令和6.11.27 ~ 11.29 (3日間)
伏見中学校	2名	令和6.10.23 ~ 10.25 (3日間)
京都医療福祉専門学校 (社会福祉士)	1名	令和6.9.9 ~ 9.23 (8日間)
	1名	令和6.9.30 ~ 11.30 (24日間)
日本メディカル専門学校 (社会福祉士)	1名	令和7.2.17 ~ 3.4 (8日間)
奈良県介護支援専門員実務者研修	1名	令和7.3.31 ~ 4.2 (3日間)

☆ならやま園

学校名	人数	期 間
青丹学園(看護実習)	4名	令和6.6.24 ~ 6.27 (4日間)
	3名	令和6.7.1 ~ 7.4 (4日間)
	3名	令和6.7.22 ~ 7.25 (4日間)

	4名	令和 6. 10. 7 ~ 10. 10 (4日間)
奈良県介護支援専門員 実務研修	1名	令和 6. 4. 14 ~ 4. 16 (3日間)
介護労働講習 実務研修	3名	令和 6. 11. 13 ~ 11. 19 (5日間)
平城中学 職業体験実習	3名	令和 6. 11. 27 ~ 1. 29 (3日間)

➤ 出張・研修結果一覧

☆平城園

出張日	人数	出張先	目 的
R6. 4. 22	1	奈良県社会福祉総合センター	「施設ケアマネジメント研修」
5月10日～ 7月31日 (内5日間)	3	オンライン	生産性向上の取り組みの普及・拡大に向けた介護事情所向けセミナー
R6. 6. 18	1	奈良県社会福祉総合センター	集まれ福祉の1年生
R6. 6. 15～ 8. 30	8	eラーニング	介護施設における安全対策担当者養成研修
R6. 6. 19	1	奈良県社会福祉総合センター	奈良県老人福祉施設協議会事務職員研修
R6. 6. 19	2	奈良県社会福祉総合センター	OJT 担当者基礎研修
R6. 7. 3～11. 6 (5日間)	2	奈良県社会福祉総合センター	スーパーバイザー養成研修
7月3日～ 7月4日	2	ウェスティ都ホテル (1日目) みやこめっせ(2日目)	近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会
R6. 7. 12	1	チャームやまとおおりやま	ヤングケアラー研修会
R6. 7. 18	2	オンライン	介護現場の生産性向上を目指した研修会
R6. 7. 23	1	共新岬研修センター	外国人技能実習生研修センター見学会
R6. 8. 6	1	奈良市西部会館市民ホール	安全運転管理者講習
R6. 8. 23	1	奈良県社会福祉総合センター	高齢者の権利擁護 もしかして虐待？
R6. 8. 23		はぐぐみセンター	ALS 患者への在宅支援について
R6. 8. 24	1	奈良県社会福祉総合センター	介護職の基本研修③介護課程の展開
R6. 8. 28・			

9.5~9.6	1	オンライン	ユニットリーダー研修
R6.9.2	1	奈良県社会福祉総合センター	介護職種の技能実習指導員講習
R6.9.2~9.12	1	奈良県産業会館	甲種防火管理新規講習
R6.9.7・ 9.10~9.11	1	オンライン	ユニットリーダー研修
R6.9.1 ~R7.1.9	1	オンライン	奈良県保育士等キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援
R6.9.19・ R6.12.12	2	奈良県社会福祉総合センター	OJT 担当者実践研修
R6.9.24~ 10.26	1	eラーニング	企業主導型事業 施設長研修
R6.9.26	2	スマイルさくらリハビリり訪 問看護ステーション	多職種交流会（緊急時対応研修）
R6.9.26	2	奈良県社会福祉総合センター	アンガーマネジメント基礎研修
R6.9.27~ R7.1.17	1	オンライン 産業会館（1日対面）	奈良県子育て支援員研修
R610.1~10.4 （4日間）	1	特別養護老人ホーム神の園	ユニットリーダー研修 実地研修
R6.10.1・ 11.25	3	内膳町自治会館すみれホール	生活の場のリーダーの役割とは チームで取り組む虐待防止 地域の暮らしはみんなで作る
R6.10.7	2	老人保健施設 秋篠	R6 ネットワーク研修会「地域緩和ケアについて」
R6.10.7	1	オンライン	バーセルインデックス研修
R6.10.9~ R7.3.7 （計6回）	1	オンライン	デイサービス事業継続相談支援
R610.15~ 10.18 （4日間）	1	特別養護老人ホーム神の園	ユニットリーダー研修 実地研修
R6.10.15・16	1	オンライン	ユニットケア施設管理者研修
R6.10.16	2	オンライン	医療的ケア教員講習
R6.10.16	1	奈良県社会福祉総合センタ	介護現場のレクリエーション
R6.10.16~ 12.17	1	オンライン	奈良県介護支援専門員更新研修専門研修課程Ⅱ
R6.10.18	3	全国老人福祉施設協議会	介護人材定着研修

R6. 10. 21～R 7. 1. 24 (6日)	3	奈良県産業会館	認知症介護実践者研修
R6. 10. 21	1	オンデマンド配信	外国人材の採用&マネジメントセミナー
R6. 10. 28・ 12. 6	1	奈良県社会福祉総合センター	対人援助コミュニケーション向上研修
R6. 10. 31	2	ホテル日航奈良	奈良県社会福祉施設職員研究会議
R6. 11. 19	1	奈良県社会福祉総合センター	傾聴からはじまるストレングス発見研修
R6. 11. 1～ 12. 17	1	オンライン	奈良県保育士等キャリアアップ研修 「障害児保育」
R6. 11. 11	1	奈良県社会福祉総合センター	奈良県保育初任者向け研修
R6. 11. 11	1	田原本青垣生涯学習センター	副安全運転管理者講習
R6. 11. 20	2	奈良県社会福祉総合センター	アンガーマネジメント実践研修
R6. 11. 25	1	奈良県社会福祉総合センター	令和6年度奈良県老人福祉施設協議会栄養士研究会
R6. 11. 30	1	奈良県医師会館	認知症診察マニュアル研修会
R6. 12. 2	2	奈良市役所	奈良市老人福祉施設連絡協議会 「福祉施設での災害対応の実際について」
R6. 12. 3	1	eラーニング	近畿厚生局及び奈良県による更新時集団指導
R6. 12. 3	1	奈良市役所	奈良市入退院連携支援合同会議
R6. 12. 3	1	橿原文化会館	奈良県社会福祉大会
R6. 12. 3	1	eラーニング	奈良県食品衛生責任者養成講習
R6. 12. 13	1	オンライン	問題解決力アップ講座
R6. 12. 5・ 12. 6	1	オンライン	ユニットリーダー研修
R7. 1. 10～ 3. 14	1	オンライン	奈良県介護支援専門員更新研修専門研修課程Ⅱ
R7. 1. 14～ 1. 17 (4日間)	1	特別養護老人ホーム神の園	ユニットリーダー研修 実地研修
R7. 1. 20	1	奈良公園バスターミナル	企業主人権・同和問題研修会
R7. 1. 23	1	オンライン	保育士のキャリア形成の考え方
R7. 2. 10	1	オンライン	介護支援専門員実務研修実習生受け入れ事業所説明会
R7. 2. 15	2	オンライン	奈良県認可外保育施設保育従事者研修会
R7. 2. 20	1	奈良公園バスターミナル	奈良県インクルーシブ保育推進研修

R7. 2. 21	4	かしはら万葉ホール	奈良県老人福祉施設協議会テーマ別研修会
R7. 2. 21	2	奈良県社会福祉総合センター	奈良県高齢者虐待防止研修
R7. 2. 26	0	奈良県社会福祉総合センター	苦情受付担当者等研修会
R7. 2. 26	1	オンライン	全国経営協「令和6年度高齢者福祉事業経営セミナー
R7. 3. 4	1	奈良県産業会館	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修
R7. 3. 6	1	介護労働安定センター	緊急時対応
R7. 3. 8	1	奈良県社会福祉総合センター	介護職の基本研修③プライバシーの保護
R7. 3. 21	3	オンライン	奈良市要介護施設従事者による高齢者虐待防止研修
R7. 3. 14	1	奈良県社会福祉総合センター	奈良県老人福祉施設協議会在宅サービス研修会
☆法人研修			
R6. 4. 22 ~ 4. 25(4日間)	141	平城園 法人会議室 特別養護老人ホーム平城園	「短時間で信頼関係を築く ANA 流ビジネスマナー研修」～接遇力向上 ANA ビジネスソリューション株式会社
R6. 9. 10	19	平城園 法人会議室	「クレーム対応研修」 KDDI 株式会社
R6. 11. 13	30	平城園 法人会議室	パソコンスキル研修「Excel・Word 研修 基礎編」 株式会社 リスキル
R6. 11. 25	30	平城園 法人会議室	パソコンスキル研修「Excel 研修 応用編」 株式会社 リスキル
R6. 11. 20	22	平城園 2階結	「ノロウイルス感染症対策」 医療法人松下会 白庭病院
R7. 1. 29	17	平城園 法人会議室	夜勤職員対象「今日から始める快眠習慣 毎日を元気に」 尾形メンタルサポート
R7. 2月～7月	21	平城園 法人会議室	「チーム力アップ研修」 トライアーチ

☆ならやま園

出張日	人数	出張先	目 的
R6. 4. 22	1	奈良県社会福祉総合センター	「施設ケアマネジメント研修」
R6. 5. 24～ 8. 30 配信	9	ZOOM	介護施設における安全対策担当者養成研修
R6. 5. 24～ R6. 8. 30	2	介護労働安定センター 奈良支部	緊急時の対応
R6. 5. 27	3	ZOOM	令和6年度奈良県老人福祉施設協議会ソーシャルワーク研修
R6. 5. 28～	1	神の園	ユニットリーダー研修

5.31			
R6.6.11～ 6.24 配信	1	Web	プライバシー保護と法令遵守
R6.6.11～ 6.24	1	奈良県社会福祉総合センター	介護職員実践研修
R6.6.18	2	奈良県社会福祉総合センター	集まれ福祉の1年生
R6.6.25	1	奈良県社会福祉総合センター	介護現場における腰痛予防と対策①
R6.7.3～4	1	ウエスティン都ホテル	令和6年度近畿老人福祉施設協議会
R6.7.3～11.6 (4日間)	3	奈良県社会福祉総合センター	スーパーバイザー養成研修
R6.7.3～ R6.7.4	2	奈良県社会福祉総合センター	介護現場における感染症の予防と対策
R6.7.3～11.6 (4日間)	1	奈良県社会福祉総合センター	OJT 実践者研修 2日目
R6.7.3～ R6.7.4	1	ウエスティン都ホテル (1日目) みやこめっせ (2日目)	近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会
R6.7.11～ 7.11	1	特別養護老人ホーム神の園	ユニットリーダー研修
R6.7.11	2	奈良県社会福祉総合センター	OJT 担当者基礎研修
R6.7.12	1	eラーニング	看護ケア 尊厳と生活支援研修
R6.7.16	1	Web	看取りケア 尊厳と生活支援
R6.7.16	3	奈良県社会福祉総合センター	ストレスコーピング (対処法)
R6.8.5～12.9 (3日間)	3	奈良県社会福祉総合センター	セキュアベースケアで職場作り
R6.8.5～12.9 (3日間)	1	web	ICT 導入の基礎研修
R6.8.19～ 8.23	1	ならやま園	全国共通 web セミナー「法定研修」プライバシー保護と法令順守
R6.8.19	2	チャームやまここおりやま	ヤングケアラー研修会
R6.9.11～ 9.24 配信	3	Web	笑顔を増やし、機能回復に繋がるレクリエーション
R6.9.11～ 9.24		奈良県社会福祉総合センター	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員コース
R6.9.12	2	奈良県社会福祉総合センター	キャリアパス対応生涯研修

～.9.25 (3日間)			
R6.9.17	1	Web	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修
R6.9.19 ～.12.12 (2日間)	2	奈良県社会福祉総合センター	OJT 担当者実践研修
R6.9.21	1	奈良県産業会館5階大会議室	令和6年度認知症介護実践者研修(1回目)3日目
R6.9.26	2	スマイルさくらリハビリ訪問 看護ステーション	多職種交流会(第4回さくら研修)
R6.9.26	3	奈良県社会福祉総合センター	ストレスに負けない心をつくる(メンタルタフネス)
R6.9.26	4	奈良県社会福祉総合センター	アンガーマネジメント基礎研修
R6.9.19 R6.12.12	2	奈良県社会福祉総合センター	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員コース
R6.9.12 ～.9.25 (3日間)	2	奈良県社会福祉総合センター	レクリエーション研修
R6.9.26	2	介護老人保健施設 秋篠	ネットワーク研修会
R6.10.9～ R7.3.7	1	田原本青垣学習センター	副安全運転管理者講習
R6.10.16	1	奈良県社会福祉総合センター	令和6年度OJT 担当者実践研修
R6.10.16	2	Web	介護のプロとして認知症ケアでたいせつなこと
R6.10.16	4	奈良県社会福祉総合センター	理学療法士が教えたい介護現場のレクリエーション
R6.10.21 ～.1.24 (6日間)	1	登美ヶ丘公民館	第二回重度化防止研修会
R6.10.27	2	ホテル日航奈良	第36回奈良県老人福祉施設職員研究会議
R6.10.28・ 12.6	1	奈良県社会福祉総合センター	対人援助コミュニケーション向上研修
R6.10.16	1	奈良県農業会館	奈良県認知症介護実践者研修
R6.10.31	1	全国老人福祉施設協議会	介護人材定着研修
R6.10.31	1	奈良県産業会館5F	令和6年度認知症介護実践者研修(1回目)6日目
R6.11.12	1	介護老人保健施設 秋篠	令和6年度ネットワーク研修会
R6.11.18	1	Web	虐待防止と身体拘束防止

R6. 11. 18	1	奈良県社会福祉総合センター	傾聴からはじまるストレングス発見研修
R6. 11. 20	2	介護労働安定センター 奈良支部	介護現場における感染症の予防と対策②
R6. 11. 25	2	奈良県社会福祉総合センター	アンガーマネジメント実践研修
R6. 11. 25	1	奈良県社会福祉総合センター	五感対話法
R6. 11. 29	1	奈良県社会福祉総合センター	令和6年度奈良県老人福祉施設協議会栄養士研究会
R6. 11. 29	1	介護労働安定センター 奈良支部	介護現場における腰痛予防と対策②
R6. 11. 30	2	介護労働安定センター 奈良支部	介護現場における感染症の予防と対策
R6. 11. 30	1	介護労働安定センター 奈良支部	腰痛予防と対策
R6. 12. 3	2	奈良市医師会館	認知症診療マニュアル研修会 認知症みんなの理解で明日が変わる
R6. 12. 4	2	奈良県社会福祉総合センター	新しい認知症ケア五感対話法
R6. 12. 11～ 12. 24 配信	2	Web	ICT 導入の基礎
R6. 12. 11	1	奈良市役所 正庁	奈良市入退院連携支援合同会議
R7. 1. 7	4	奈良市役所北棟 4 階	介護人材キャリアアップ研修 クレーム対応講座
R7. 1. 28	2	Web	外国人介護職員の定着のために
R7. 2. 13～ 2. 26 配信	3	Web	介護現場のハラスメントゼロへ
R7. 2. 17	2	介護労働安定センター 奈良支部	介護職が知っておきたい口腔ケア
R7. 2. 18	2	奈良県社会福祉総合センター	令和6年度奈良県高齢者虐待防止研修
R7. 2. 18	1	奈良市役所	令和6年度介護人材キャリアアップ研修 (アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修)
R7. 2. 18	3	介護老人保健施設 アップル学園前	難病に対するリハビリテーションと看護の関わり
R7. 2. 21	3	奈良市役所北棟 4 階	令和6年度介護人材キャリアアップ研修 クレーム対応講座
R7. 2. 21	3	奈良市役所北棟 4 階	アンガーマネジメント・ストレスコントロール研修
R7. 2. 26	1	はぐくみセンター	令和6年度 いのちを支える奈良市 市民研修 こころの守り方
R7. 2. 26	1	奈良市役所	アンガーマネジメント講座
R7. 2. 28	2	介護労働安定センター 奈良支部	口腔ケア研修

R7.2.28	1	奈良県社会福祉総合センター	日本人の食事摂取基準（2025年版）研修会
R7.3.10	1	奈良学園大学 2号館5階研修室	顔の見える多職種連携会
R7.3.5	1	奈良市役所	クレーム対応研修
R7.3.11～ 3.24配信	3	Web	組織を守るリスクマネジメント
R7.3.19	1	奈良県産業会館	令和6年度奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修
7.3/21	1	奈良県社会福祉総合センター	ひとと地域を結ぶ懸け橋としてのデイサービス職員の役割
R7.3.21	1	奈良県社会福祉総合センター	令和7年度苦情受付社会福祉センター
R7.3.21	1	ZOOM	令和6年度奈良市養介護施設従事者等による虐待防止研修

6 医療部門

(1) 平城園診療所

特養の入所者に関しては、健康管理と日常的な診療を行い、疾病予防医療についての運営に努め、重症者については関連病院との連携により迅速に対応した。法人職員に関しては、産業医による定期健康診断の実施及び、衛生管理者との連携を図り、業務による疾病予防と健康管理に努めた。

令和6年8月には新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、令和7年1月には急性胃腸炎による利用者の体調不良が増加したが、医務室と連携し早急な診療体制で利用者の治療にあたり、また他病院と連携し入院治療が行えるよう迅速な対応を行った。

コロナワクチンは5類移行に伴い、インフルエンザ予防接種とともに定期接種として行った。

一般外来診療については令和5年度からの診療所の体制により週1回火曜日の午前中のみ診察となったため、受診者数は毎年減少している。

介護サービス利用時の健康診断が今年度増えてきており、施設利用がスムーズに行くよう他部署と連携を図っていく。

受診者数

(単位：人)

	利用者	法人職員	地域住民	合計
R6年度延人数	5,428	42	99	5,569
R5年度延人数	5,483	38	153	5,674

(2) あきしの整形外科クリニック

➤ 令和5年6月1日にクリニックは開設された。ホームページ、Instagramでの

情報発信に努めた結果、口コミも広がり新患数、延べ患者数も増えてきた。運動器のリハビリができるクリニックとしての特徴を最大限に生かして更なる新患数、受診者数の増加を目指していきたい。

令和6年度 受診者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延患者数	571	700	649	752	686	579	582	558	587	500	590	691
新患数	136	172	155	172	160	112	109	112	114	105	142	139
診療日数	17	17	16	18	16	14.5	18	16.5	17	15	16	17
一日平均患者数	33.6	41.1	40.6	41.8	42.9	39.9	32.3	33.8	34.5	33.3	36.9	40.6
一日平均新患数	8.0	10.1	9.7	9.6	10	7.7	6.1	6.8	6.7	7	8.9	8.2

7 保育部門

(1) 登美ヶ丘マミーズ保育園

幼児期に主体的に遊びや生活に取り組む中で生涯にわたって学んだり集団生活を送ったりするうえでの基礎が形成される。子どもたちにとって保育園で遊ぶ「今」が心地よく幸せなものとなるよう、常に子どもを真ん中に保育を進めてきた。運動会、夏祭り、作品展、発表会などの行事には、保護者にも参加していただき、子どもの楽しみを共有してもらったり、成長の様子を喜んでもらったりした。日常生活や遊びの中では、乳児クラスでは、保育士との愛着関係を基に自己肯定感を育み、自らやろうとする意欲を大切にした。幼児クラスでは子どもたちが面白がっていることに目を向け、好きな事をみつけて夢中でとことん遊ぶ姿を大切にし、遊びの中での学びを得るようにしてきた。「できた!」という小さな喜びをたくさん積み重ね、保育理念に揚げる「生きる力」「創造力」「温かい心」の育成に努めた。

特色ある活動として、「マミーズ農園」での野菜栽培と収穫、調理して食べるといった「食育活動」を通して食への関心を広げてきた。また、外部講師の力をお借りしての「英語活動」や「体操教室」に加え「サッカー教室」も開催することが出来た。課外活動としては英語・スポーツ・ダンスなども充実し経験の幅を広げることができた。また、高齢者施設の方々との交流では、園を訪問していただき、園児と触れ合って遊んだり作品展を見学してもらったりした。優しさや温もりに包まれ、保育理念の1つである「温かい心」を育むことができた。地域交流では、国際中学校の生徒による年2回の保育実習や国際高校生徒による園児との交流、「ならせんと会」によるお話の会を毎月1回実施し子どもたちの心を豊かにする取り組みを行った。

創立 5 周年を迎え、園児数も増加し、現在 110 名以上の園児が通園している。0 歳児も月ごとに増え 12 月には 18 名を満了することができた。一時預かり保育利用者は、昨年度より減少したが一定の人数は確保できた。

保育者の専門性の向上の為、保育を公開しての園内研修会やキャリアアップ研修、不適切保育についての研修、AED 講習等を行った。日々の保育に生かせるようにしていきたい。

子育て支援としては、園庭開放や 0 歳児親子対象のマミーズ広場を開催した。少人数ではあるが就園にも繋がっているので今後も計画的に取り組んでいきたい。

➤ 園児利用状況

・通常保育 利用児童数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	9	11	12	12	12	12	15	15	18	18	18	18
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
2歳児	21	21	21	21	20	21	21	21	21	21	21	21
3歳児	18	18	19	19	20	20	20	20	20	20	19	19
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

・一時預かり保育 利用児童数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	74	64	69	89	52	81	90	89	80	78	87	97

➤ 保育の実施状況

■ 保育について

保育理念である「生きる力」「創造力」「温かい心」を目指し、「たくましい子、優しい子、心豊かでのびのびした子、創造力のある子」を保育目標に掲げ、様々な遊びや体験を通して、子どものやりたい気持ちを大切にしながら、自己肯定感や非認知能力の育ちを大切にされた保育を年齢ごとの指導計画に添って進めた。

■ 園行事

ほぼ予定通りに行事を進めることができた。参観や夏祭り・作品展・生活発表会については保護者にも参観・参加をしていただくことで、園の保育教育の理解につながった。

■ 健康管理

内科検診…年 2 回実施 (4 月 20 日・11 月 16 日)

歯科検診…年 1 回実施 (6 月 26 日)

眼科検診…年 1 回実施 (6 月 16 日)

■ 食育指導（給食）

畑のおじさんの指導の下、四季折々の野菜を育て、収穫した野菜は給食で提供してもらった。季節の食材を食することで、食に関心を持たせた。また、4・5歳児では、クッキング活動を取り入れ、「作る楽しさ」「食べる楽しさ」を味わい、食に関する紙芝居や、3つの食品群の話栄養士や給食の先生にいただき、食べることへの意欲や興味・関心を持たせるようにした。

■ 安全対策

災害に備え、避難訓練を年間13回実施した。火災・地震・水害・不審者対応など、非常時を想定して行った。不審者対応訓練は、警察官の指導のもと、訓練を行った。

交通安全教室を開催し、歩行訓練と警察官からの安全指導を受けた。（9月）

■ 安全計画を作成し計画に基づき進めた。危機を想定しながらの訓練や、非常時の対応の仕方について実践を伴って共通理解した。警察や消防署の協力も得ながら対応の仕方について学んだ。

■ AED講習会を開き、消防士の指導の下、全職員が救急・救命について学んだ。

➤ 会議・研修

■ 定例職員会議（12回）、リーダー会議、処遇会議（食育・安全・人材・特別支援）子どもたちが日々安全・安心で楽しく。主体的な毎日を過ごすにはどのような環境や援助が必要となるか、クラスの実態や保護者の様子等を出し合い情報共有した。行事については係を中心に進め、終了後は振り返りを行い、翌年以降の課題をとりまとめた。

処遇会議では、部会ごとに会議をもった。安全部会では、ヒヤリハットの事例から環境や保育の見直しを行い、嘔吐処理やけがの処置などについても学んだ。特別支援部では、毎月の巡回相談の際に担当者が集まり、アドバイザーの助言を仰ぎ、今後の指導に生かすようにした。人材育成会では、園内研修・勉強会の企画、実施後のまとめを行い園内に掲示し、参加できなかった職員もまとめを見て学べるようにした。今後も一人でも多くの職員が研修に参加できるよう会の持ち方を工夫していきたい。

■ 園内研究会（年間5回） キャリアアップ研修（個人） 園内外の研修に参加。

職員の資質向上のため、園内研究会を実施。公開保育と研究討議を通して学び合う。研修の持ち方を考え、少グループで話しやすい場になるようにした。学んだ事が日々の保育実践に生かされるような話し合いになるように努めた。

キャリアに応じて各種研修会に参加し、参加後は報告書を提出。研修報告会については集まる時間等のこともあり、改善できていない。定例会議時に報告会も入れるなどの工夫をしていきたい。

園内研修では、「危機管理マニュアルの確認」「不適切な保育について」「ミニ保育研修」「感染予防対策」等を行った。

不適切な保育については、各保育士が「人権擁護のチェックリスト」を用いて子どもへの関わり方を振り返り「子どもを尊重すること」や「子どもの人権擁護」について意識を高めた。また、各自「ユマニチュード実践の動画」を視聴し、感想や実践に生かされることなどを記録し、適切な関わりについての意識を高めた。各種研修にも参加し、講師の話聞くことで自身の保育を見直し適切な関わり方を改めて学ぶことができた。

「語り合い研修」では新人・乳児・幼児別・クラス別で日頃の保育の進め方や子どもへのかかわり方等について話合っている。少人数で、思いが出しやすく充実した話し合いになるので定着させていきたい。

➤ 地域との関わり

- 0歳児の保護者と妊婦さんを対象に「マミーズ広場」を開催した。保育見学、園の説明、触れ合い遊び等を行った。中でもクリスマス会は講評であった。就園につながるよう今後も計画したい。
- 奈良県立国際中学高等学校との交流
桜見、中学校の保育体験実習、家庭科クラブ生徒との遊び体験等の交流ができた。
- 「ならせんと会」によるお話の会を毎月1回実施した。
- 療育施設との連携により配慮を要する園児の発達支援を実施した。

➤ 保護者支援

- 保育参観や行事への参観・個人懇談等を実施したところ大変好評であった。運動会や夏祭りは親子で楽しめる時間となった。保育参加を通して、子どもの成長や園の魅力など保育・教育について理解してもらえる場にしていきたい。

(2)福寿会マミーズ保育園

令和6年度は4月より従業員枠・共同利用枠4名、地域枠3名で新年度をスタートした。6月には従業員のお子様を新たに2名、地域枠1名を受け入れ、定員いっぱいの10名のお子様を受け入れ行うことが出来た。4月以降、定期利用の問い合わせが相次いだが生き定員が無く、約10名の方に入園をお断りすることとなった。昨年度に比べて、一時預かりの問い合わせが少なく、定期希望の方が多く見受けられた。

保育では、園外散歩を沢山取り入れることで、体力づくりや五感への刺激、社会性の育成、地域の方々との触れ合いを感じて学ぶ事が出来た。

また、保護者の育児困難をサポートできるように、保護者支援をしっかりと行った。専門性の向上を目指して、保育士の外部研修を積極的に受講し、保育士それぞれの意識の向上を目指すことができた。今後も従業員の働き方に即した保育の提供と、地域に密接した寄り添った保育をご提供していきたい。

・利用者延人数

(単位：人)

	R6.4		5		6		7		8		9	
	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時
0歳児	21	0	18	0	17	0	22	0	16	0	19	0
1,2歳児	114	0	113	1	130	7	155	5	136	6	120	27
3歳児	0	20	0	15	0	1	0	0	0	15	0	2
4,5歳児	0	1	0	1	0	2	0	1	0	5	0	2
合計	135	21	131	17	147	10	177	6	152	26	139	31

	10		11		12		R7.1		2		3	
	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時	定期	一時
0歳児	22	0	19	0	20	1	19	1	17	2	17	0
1,2歳児	171	8	143	12	149	11	134	16	125	17	138	7
3歳児	0	1	0	2	0	4	0	2	0	4	0	5
4,5歳児	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
合計	193	10	162	15	169	16	153	19	142	25	155	12